POLYORGANOFULLERENE

Publication number:

JP2000044215

Publication date:

2000-02-15

Inventor:

LONG Y CHIANG

Applicant:

LONG Y CHIANG

Classification:

- international:

C01B31/02; C01B31/00; (IPC1-7): C01B31/02

- european:

Application number:

JP19980214304 19980729

Priority number(s):

JP19980214304 19980729

Report a data error here

Abstract of JP2000044215

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a polyorganofullerene deriv. useful as an intermediate under mild conditions at a high rate by allowing a fullerene core to react with an amino compd., an alkoxide, an org. thiolate, an org. phenol compd. or the like in a solvent. SOLUTION: The polyorganofullerene deriv. has a compsn. represented by the formula F(-E)n, wherein F is a fullerene core such as C60, C70, C76, C78, C82, C84 or C92, E is one of E1-E5, E1 is Y1,Y2-amino (Y is alkyl), Y1,Y2-ethylenediamino, (dihydroxymethyl)alkylamino, X1,X2-(aryl)amino, X1,X3-(aryl) amino, or X1,X3-aryloxy, E2 is Y1,Y2-alkoxy or the like, E3 is Y1,Y2,Y3-alkoxy or the like, (n) is 2-30 and X1 is -Y, -O-Y, -S-Y, -NH-Y, -CO-O-Y or the like. The compd. or its salt is used as an effective hydrolyzing agent.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Reference 2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号 特開2000—44215

(P.2 0 0 0 - 4 4 2 1 5 A) (43)公開日 平成12年2月15日(2000.2.15)

(51) Int. Cl. 7

C01B 31/02

識別記号

101

FΙ

テーマコード (参考)

C01B 31/02

101

F 4G046

審査請求 有 請求項の数30 〇L (全27頁)

(21)出願番号

特願平10-214304

(22)出願日

平成10年7月29日(1998.7.29)

(71)出願人 598101631

ロング ワイ. チャン

Long Y. Chiang

台湾 タイペイ ヒシン-シエン、エス.

ロード レーン 97 セクション1 4

階15号室

(72)発明者 ロング ワイ. チャン

台湾、タイペイ ヒシンーシェン、エス.

ロード レーン 97、セクション1 4

階15号室

(74)代理人 100064414

弁理士 磯野 道造

Fターム(参考) 4G046 CC10

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】ポリ有機フレレン

(57) 【要約】

【構成】 ポリ有機フレレン及びポリヒドロキシ有機フレレン誘導体は、それぞれの式、F-(E)。及びF-(E)。一(OH)。(式中、Fはフレレンコアであり、Eは求核性置換基であり、一OHはヒドロキシ基であり、nは2~30であり、そしてmは1~20である)を有する。また、中間体としてポリニトロフレレン又はポリシクロ硫酸化フレレンを使用する、このようなポリ有機フレレン及びポリヒドロキシ有機フレレン誘導体の製造方法も開示される。

【効果】種々のポリ有機フレレン誘導体の製造用の中間体として使用することができる。これらの中間体を使用することによって、穏和な条件下で速い速度で反応を進行させることが可能になる。ポリニトロフレレン又はポリシクロ硫酸化フレレンから合成されたこれらのフレレン誘導体は、次いで、フレレングラフト化ポリマーを製造するために使用することができる。ポリマーの出発物質として作用することに加えて、これらの誘導体は、有用なフリーラジカルスカベンジャーであることも示されている。

40

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記式: 1

F(-E)

[式中、Fはフレレンコアであり、Eは各々に独立して E_1 、 E_2 、 E_3 、 E_4 、 E_4 又は E_5 であり、{ただし、 E_4 , は各々独立して、Y₁, Y₁ - アミノ、 (Y₁, Y₁ -アルキル) アミノ、Y₁ , Y₁ -エチレンジアミノ、 (ジヒドロキシメチル) アルキルアミノ、(X, X, -アリール) アミノ又はX₁, X₁-アリールオキシで あり、E、は各々独立して、Y、、Y、-アルコキシ、 (Y₁ , Y₂ −アミノ) アルコキシ、(Y₁ , Y₂ , Y , -アリール) オキシ、(ジヒドロキシアルキル) アリ ールオキシ、(Y,,Y,,Y,-アルキル)アミノ、 (Y₁, Y₁, Y₁ - アリール) アミノ又はジヒドロキ シアルキルアミノであり、E、は各々独立して、Y、、 Y, , Y, -アルコキシ、(トリヒドロキシアルキル) アルコキシ、(トリヒドロキシアルキル)アルキルアミ ノ、(ジカルボキシアルキル)アミノ、(Y,,Y,, Y, -アルキル)チオ、(X, , X, -アリール)チ オ、(Y」, Y, -アルキル)チオ、(ジヒドロキシア 20 ルキル) チオ、Y₁ , Y₁ -ジオキソアルキルであり、 E、は各々独立して、((グリコシジル)オキソヘテロ アリール) アミノ、((グリコシジル) オキソアリー ル)アミノ、(X_1 , X_2 , X_3 - ヘテロアリール)ア > 1 $(X_1 - \mathcal{Y} P J - \mathcal{W} F + \mathcal{Y})$ > 1-オキソアリール) アミノ、(X, X, -ジオキソアリ ール) アミノ、(Y. -アルキル, Y. -アルキルジオ キソヘテロアリール) アミノ、(Y, -アルキル, Y, -アルキルジオキソアリール) アミノ、(ジ(Y₁, Y , -メチル) ジオキソヘテロアリール) アミノ、(ジ (Y₁, Y₁ - メチル) ジオキソアリール) アミノ、 ((グリコシジル) ヘテロアリール) アミノ、((グリ コシジル) アリール) アミノ、((カルボキシルアセチ ルアルキル)オキソヘテロアリール)アミノ、((カル ボキシルアセチルアルキル)オキソアリール)アミノ、 ((イソプロピルアミノヒドロキシアルコキシ)アリー ル) アミノ又は $(X_1, X_2, X_3, - アルキルアリー$ ル) アミノであり、E、は各々独立して、(X,, X, , X, -ヘテロアリール) オキシ、(イソプロピル アミノヒドロキシアルキル)アリールオキシ、 (X_{ij}) X_{i} , X_{i} - λ オキソヘテロアリール)オキシ、(X、-ジアリールケ トン)オキシ、(X, X, -オキソアリール)オキシ、 $(X_i, X_i - ジオキソアリール) オキシ、 (Y_i, Y$ $_{1}$ ージーアミノジヒドロキシ)アルキル、(X_{1} , X_{2} ーヘテロアリール)チオ、((トリカルボキシルアルキ ル)エチレンジアミノ)アルコキシ、(X_i , X_i - オ キソアリール)チオ、(X₁, X₁ -ジオキソアリー ル) チオ、(グリコシジルへテロアリール)チオ、(グ 50 ₇₋₅₀ アリールカーボネート)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₆₀ アルキル

リコシジルアリール) チオ、Y₁ -アルキル (チオカル ボニル) チオ、Y, , Y, -アルキル (チオカルボニ ル) チオ、Y₁ , Y₁ , Y ーアルキル (チオカルボニ ル)チオ、(Y_i , Y_i -アミノチオカルボニル)チ オ、(ピラノシル)チオ、システイニル、チロシニル、 (フェニルアライニル) アミノ、(ジカルポキシアルキ ル)チオ、(アミノアリール)1-10アミノ又は(ピラノ シル)アミノであり、(ここでXは互いに独立してハロ ゲン化物であり、X、及びX、の各々独立して-H、- $10 \ Y_{1} \ , \ -O-Y_{1} \ , \ -S-Y_{1} \ , \ -NH-Y_{1} \ , \ -CO$ $-O-Y_1$, $-O-CO-Y_1$, $-CO-NH-Y_1$, $-CO-NY_1$ Y_2 , $-NH-CO-Y_1$, $-SO_2$ - Y_1 , $-CHY_1$, Y_2 , $ZU-NY_1$, Y_2 , U, U, U各々独立して、-Y,、-O-Y,、-S-Y,、-N $H-Y_1$, $-CO-O-Y_1$, $-O-CO-Y_1$, -C $O-NH-Y_1$, $-CO-NY_1$, Y_2 , -NH-CO- Y_1 , $-SO_2$, $-Y_1$, $-CHY_1$, Y_2 , $Zd-NY_1$, Y, であり、そしてY, 、Y, 及びY, の各々独立して-B-Zである) —式中、Bは各々独立して、-Ra-O - [Si(CH,), -O-],,,,, C,,,,,のアルキ ル、 C_{6-10} アリール、 C_{7-60} アルキルアリール、 C_{7-60} アリールアルキル、(C₁₋₁₀アルキルエーテ (C_{6-40}, P) ((C_{6-40}, P) ((C_{6-40}, P)) ((C_{6-40}, P) 7-60 アルキルアリールエーテル) 1-100 、 (C7-60 アリ ールアルキルエーテル),-,。、(C,-,,アルキルチオ エーテル)₁₋₁₀。、(C₆₋₄₀アリールチオエーテル) 1-100 、 (C₇₋₆₀アルキルアリールチオエーテル) 1-100 、 (C₁₋₁₀アリールアルキルチオエーテル) 1-100 、 (C2-50アルキルエステル) 1-100、 (C7-60アリールエステル)₁₋₁₀ 、 (C₈₋₇₀アル キルアリールエステル) 1-100 、 (C8-70アリールアル キルエステル) |-100 、 -R-CO-O-(C1-10アル キルエーテル),,,,,,、-R-CO-O-(C,,,,)アリ キルアリールエーテル)。、-R-CO-O-(C 1-60 アリールアルキルエーテル) | -100 、 (C,-50 アル キルウレタン) 1-100 、 (C14-10 アリールウレタン) 1-100 、 (C10-10 アルキルアリールウレタ ン)₁₋₁₀₀、(C₁₀₋₁₀ アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-soアルキルウレア),-100 、 (C14-60 アリールウレア),..,。、 (C,,,,,アルキルアリール ウレア)₁₋₁₀。、(C₁₀₋₈。アリールアルキルウレア) ,-,00、 (C,-soアルキルアミド),-,00 、 (C,-soア リールアミド) 1-100 、 (C₈₋₇₀アルキルアリールアミ ド)₁₋₁₀₀、(C₈₋₇₀アリールアルキルアミ ド)₁₋₁₀₀、(C₁₋₁₀アルキル無水物)₁₋₁₀₀、(C 8-50アリール無水物),-,00、(C,-60アルキルアリー ル無水物)₁₋₁₀。、(C, 20)アリールアルキル無水物) 1-100、 (C₁₋₁0アルキルカーボネート)₁₋₁₀0 、 (C

アリールカーボネート),-,o,、(C,-,oアリールアル キルカーボネート) , -, 。。、 - R, - O - C O - N H -(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O- $(C_{1-10}PN+NX-FN, C_{1-10}PJ-NX-FN,$ C₁₋₁。アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₁。アリー ルアルキルエーテル) .-... 、 - R, -O-CO-NH - (R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O - (C2-50アルキルエステル、C1-60アリールエス テル、C₁₋₁。アルキルアリールエステル若しくはC₁₋₁。 アリールアルキルエステル) - 100 、 - R1 - O - CO -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-C O-O-(C, ,, アルキルエーテル、C, ,, アリールエ ーテル、C1-60アルキルアリールエーテル若しくはC 7-60 アリールアルキルエーテル) --100 -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O -、-R₁-O-CO-NH-(R₂ 若しくはAr-R : -Ar) -NH-CO-O- (C:-soアルキルエステ ル、C₁₋₁₀アリールエステル、C₁₋₁₀アルキルアリール エステル若しくはC。-,。アリールアルキルエステル) ı-:oo -R; -O-CO-NH-(R; 若しくはAr- 20 -NH-(R.若しくはAr-R.-Ar)-NH-C O-O-(C₁₋₁₀アルキルエーテル、C₁₋₁₀アリールエ ーテル、C₁₋₄₀アルキルアリールエーテル若しくはC 7-50 アリールアルキルエーテル),-100 、-R, -NH -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-N H-CO-O-(C₁₋₅₀アルキルエステル、C₁₋₅₀アリ ールエステル、C₈₋₇₀アルキルアリールエステル若しく はC₈₋₇。アリールアルキルエステル),-10。、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar) -NH-CO-O- (C1-30アルキルエーテル、C 4-10 アリールエーテル、C,...0 アルキルアリールエーテ ル若しくはC,..。アリールアルキルエーテル),...。 -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH -CO-O-、-R, -NH-CO-NH-(R, 若し $\langle \text{tAr} - \text{R}_{1} - \text{Ar} \rangle - \text{NH} - \text{CO} - \text{O} - (C_{1-5}, 7)$ ルキルエステル、C_{マー}。。アリールエステル、C_{メーフ}。アル キルアリールエステル若しくはC。-7。アリールアルキル エステル) -- 100 - R, -O-CO-NH-(R, 若し $\langle \text{tAr} - R_1 - \text{Ar} \rangle - \text{NH} - \text{CO} - \text{O} - \langle -R_1 - 40 \rangle$ O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)- $NH-CO-NH-(C_{1-50}PN+NPSF, C_{7-50}P$ リールアミド、C₁₋₇。アルキルアリールアミド若しくは C_{i-70} アリールアルキルアミド) $_{i-100}$ 又は $_{i-1}$ スは $_{i-1}$ H-CO-NH-(R. 若しくはAr-R. -Ar)-NH-CO-NH- (C1-50 アルキルアミド、C1-50 ア リールアミド、C.-,。アルキルアリールアミド若しくは Zは各々独立して-C-D-(式中、各Cは各々独立し

【請求項2】 Fが C_{i0} 、 C_{70} 、 C_{74} 、 C_{74} 、 C_{82} 、 C_{84} 又は C_{94} のフレレンコアである請求項1記載の化合物。

【請求項3】 Eが各々独立してE,、E,、E,又 はE,である請求項1記載の化合物。

【請求項4】 $n=3\sim25$ である請求項1記載の化合物。

【請求項5】 Eが各々独立してE, 、E, 又はE, である請求項4記載の化合物。

【請求項6】 X, が各々独立して-Y, 、-O-Y, 、-S-Y, 、-NH-Y, 、-CO-O-Y, 、-O-CO-Y, 、-CO-NH-Y, 、-CO-NY, Y, 、-NH-CO-Y, 、-SO, -Y, 、-CHY, Y, 又は-NY, Y, である請求項5記載の化合物。

【請求項7】 Bが各々独立して、-R. -O- [Si (CH,), -O-] 1-100、C₆₋₁₀アリール、C 7-10 アルキルアリール、C7-10 アリールアルキル、 (C ₅-,₀アリールエーテル),-,₀。、(C,-,₀アルキルアリ ールエーテル) 1-100 、 (C7-60アリールアルキル エーテル) $_{1-100}$ 、 (C_{1-10} アルキルチオエーテル) 1-100 、 (C,-10アリールチオエーテル),-100 、 (C 1-60 アルキルアリールチオエーテル) --100 、 (C1-60 アリールアルキルチオエーテル) 1-100 、 (C:-50 アル キルエステル)₁₋₁₀。、(C₁₋₆₀アリールエステル) 1-100 、 (C₈₋₇₀ アルキルアリールエステル) ₁₋₁₀ 、 (C₈₋₇₀アリールアルキルエステル)₁₋₁₀。、−R−C O-O-(C₁₋₁, アルキルエーテル)₁₋₁, 、-R-C O-O-(C₆₋₄₀アリールエーテル)₁₋₁₀₀、-R-C O-O-(C,-,,アルキルアリールエーテル),-,,,、 -R-CO-O- (C₁₋₁₀アリールアルキルエーテル) 1-100 、 (C₁₋₅₀アルキルウレタン)₁₋₁₀₀ 、 (C 14-60 アリールウレタン) 1-100 、 (C10-10 アルキル アリールウレタン) 1-100 、 (C10-80 アリールアルキ

 $P)_{1-100}$ 、 $(C_{14-10}P)_{1-100}$ 、 $(C_{14-10}P)_{1-100}$ 、 $(C_{14-10}P)_{1-100}$ 10-80 アルキルアリールウレア)1-100 、 (C1-80アリ ールアルキルウレア),-,,。、(C,-s,アルキルアミ ド)₁₋₁₀₀ 、 (C₇₋₁₀アリールアミド)₁₋₁₀₀ 、 (C s-70 アルキルアリールアミド)1-100 、(Cs-70 アリー ルアルキルアミド)₁₋₁₀。、(C₁₋₁₀アルキル無水物) 1-100 、 (C₈₋₅₀アリール無水物)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₅₀ア ルキルアリール無水物)、、、、、(C,、、、アリールアル キル無水物),-,。、 (C,-,,アルキルカーボネート) 1-100 、 (C₇₋₅₀アリールカーボネート)₁₋₁₀₀ 、 (C 8-60 アルキルアリールカーボネート),-100 、 (C8-60 アリールアルキルカーボネート),-,,,、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH -CO-O-(C₁₋₁₀アルキルエーテル、C₆₋₄₀アリー ルエーテル、C、・・。アルキルアリールエーテル若しくは -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-N $H-CO-O-(C_{1-50}PN+NTAFN, C_{1-60}P)$ ールエステル、Cs-7。アルキルアリールエステル若しく $\mathsf{tC}_{\mathsf{1-7}}$, $\mathsf{P}\mathsf{U}$ U U O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)- $NH-CO-O-(C_{1-1}, PN+NI-FN, C_{1-1}, P$ リールエーテル、C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若し くはC,-,,アリールアルキルエーテル),-,,, -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr -R: -Ar) -NH-CO-O- (C:-50アルキルエ ステル、C7-60 アリールエステル、C8-70 アルキルアリ ールエステル若しくはC₈₋₁。アリールアルキルエステ ル)₁₋₁₀₀ - R₁ - O - C O - N H - (R₁ 若しくはA $r-R_1-A_1$ -NH-CO-O-, $-R_1$ -NH-CO-NH-(R. 若しくはAr-R. -Ar)-NH -CO-O-(C₁₋₁₀アルキルエーテル、C₁₋₁₀アリー ルエーテル、C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくは H-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O- (C₁₋₅₀ アルキルエステル、C₁₋₅₀ ア リールエステル、C₈₋₇gアルキルアリールエステル若し $\langle \mathsf{tkC}_{\mathsf{1-7}}, \mathsf{ryl} - \mathsf{nyl} \mathsf{ryl} + \mathsf{nyl} \mathsf{ryl} \rangle_{\mathsf{1-100}} \ , - \mathsf{R_1}$ -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A r) - N H - C O - O - (C₁₋₃, アルキルエーテル、C ε-ι。アリールエーテル、C₁-ε。アルキルアリールエーテ ル若しくはC₁₋₆アリールアルキルエーテル)₁₋₁₀。-CO-NH-(R. 若しくはAr-R. -Ar)-NH -CO-O-、-R, -NH-CO-NH-(R, 若し $\langle \text{tAr} - \text{R}_i - \text{Ar} \rangle - \text{NH} - \text{CO} - \text{O} - \langle \text{C}_{i-5}, \text{P} \rangle$ ルキルエステル、C₁₋₁₀アリールエステル、C₁₋₁₀アル キルアリールエステル若しくはC。- 10 アリールアルキル エステル),-,。-R, -O-CO-NH-(R, 若し

O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar) - NH-CO-NH-(C_{1-50} アルキルアミド、 C_{1-60} アリールアミド、 C_{3-70} アルキルアリールアミド若しくは C_{3-70} アリールアルキルアミド) $_{1-100}$ 又は $_{1-10}$ 又は $_{1-10}$ R ストート H-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar) - NH-CO-NH-(C_{1-50} アルキルアミド、 C_{1-60} アリールアミド、 C_{1-10} アルキルアリールアミド若しくは C_{3-70} アリールアルキルアミド) であり、R、R、R、R、及びR、が各々独立して C_{1-30} アルキルであり、そしてArが各々独立してアリールである請求項6記載の化合物。

【請求項9】 $n=4\sim20$ である請求項1記載の化合物。

【請求項10】 Eが各々独立してE、又はE、である 請求項9記載の化合物。

【請求項11】 X」が各々独立して一Y,、一〇一Y ,、一S一Y,、一NH一Y,、一C〇一〇一Y,、一 〇一C〇一Y,、一C〇一NH一Y,、一C〇一NY, Y,、一NH一C〇一Y,、一S〇,一Y,、一CHY , Y,又は一NY, Y,である請求項10記載の化合物。

【請求項12】 Bが各々独立して、-R, -O-[Sin(CH,)], -O-[N, C] に (CH,)], -O-[N, C] に (CH,)], -O-[N, C] に (C) に アルキルアリール、 (C_1-C_1) アルキルアリールエーテル) に (C) に (C) アルキルアリールエーテル) に (C) に (C) アルキルチオエーテル) に (C) に (C) アリールチオエーテル) に (C) アリールチオエーテル) に (C) アルキルアリールチオエーテル) に (C) アルキルアリールチオエーテル) に (C) に アルキルアリールチオエーテル) に (C) に アルキルアリールチオエーテル) に (C) に アルキルアリールチオエーテル) に (C) に

r) $-NH-CO-O-(C_{1-30}$ アルキルエーテル、C $(C_{1-40}$ アリールエーテル、 C_{1-40} アリールエーテル、 C_{1-40} アリールエーテル、 C_{1-40} アルキルアリールエーテル $(C_{1-40}$ アリールアルキルエーテル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエーテル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエステル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエステル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエステル) $(C_{1-40}$ アリールエステル) $(C_{1-40}$ アリールエーテル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエーテル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエステル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエステル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエステル) $(C_{1-40}$ アリールエステル) $(C_{1-40}$ アリールエステル) $(C_{1-40}$ アリールアルキルエステル) $(C_{1-40}$ アリールエステル) $(C_{1-40}$ アリールエステル

(C11-10 アリールウレタン)1-100 、(C10-10 アル キルアリールウレタン),-100 、 (C10-80 アリールア ルキルウレタン):-:oo 、 (Cs-soアルキルウレア) 1-100 、 (C14-60 アリールウレア) 1-100 、 (C 10-80 アルキルアリールウレア) 1-100 、 (C10-80 ア リールアルキルウレア),-100 、 (C,-50アルキルアミ ド)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₆₀アリールアミド)₁₋₁₀₀ 、 (C 8-70 アルキルアリールアミド) 1-100 、 (C8-70 アリー ルアルキルアミド)₁₋₁₀。、(C₃₋₁₀アルキル無水物) 1-100 、 (C₈₋₅₀アリール無水物)₁₋₁₀₀ 、 (C₉₋₆₀ア ルキルアリール無水物),-,。、(C,-,。アリールアル キル無水物)₁₋₁₀₀ 、 (C₂₋₃₀アルキルカーボネート) 1-100 、 (C₇₋₅₀アリールカーボネート),-100 、 (C 8-60 アルキルアリールカーボネート),-100 、 (C8-60 アリールアルキルカーボネート),:,。、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH -CO-O-(C₁₋₃。アルキルエーテル、C₄₋₄。アリー ルエーテル、C₁₋₄。アルキルアリールエーテル若しくは -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-N $H-CO-O-(C_{1-10}PN+NTAFN, C_{1-10}P)$ ールエステル、C₈₋₁₀アルキルアリールエステル若しく はC₁₋₇。アリールアルキルエステル)₁₋₁₀。、-R₁.-O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C,-,,アルキルエーテル、C,-,,ア リールエーテル、Cr-soアルキルアリールエーテル若し くはC₁₋₆。アリールアルキルエーテル)₁₋₁₀。 - C O -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr $-R_1 - Ar) - NH - CO - O - (C_{1-50} TW + WI$ ステル、C1:40アリールエステル、C8-10アルキルアリ ールエステル若しくはC。・・。アリールアルキルエステ ル)₁₋₁₀₀ - R, -O-CO-NH-(R, 若しくはA $r-R_1-Ar)-NH-CO-O-, -R_1-NH-$ CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH -CO-O-(C₁₋₁₀アルキルエーテル、C₄₋₄₀アリー、 ルエーテル、C₁₋₄₀アルキルアリールエーテル若しくは H-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar) - $NH-CO-O-(C_{1-50}PN+NTAFN, C_{1-60}P)$ リールエステル、C.-,。アルキルアリールエステル若し $\langle ttC_{s-r_0} T U - \nu T \nu T \nu T \nu T \rangle$ -NH-CO-NH-(R₁若しくはAr-R₁-A r) -NH-CO-O-(C₁₋₃, アルキルエーテル、C 4-40 アリールエーテル、C,-60 アルキルアリールエーテ ル若しくはC₁₋₁₀アリールアルキルエーテル),-100 -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH -CO-O-、-R1-NH-CO-NH-(R. 若し $\langle \text{tAr} - \text{R}_1 - \text{Ar} \rangle - \text{NH} - \text{CO} - \text{O} - \langle \text{C}_{1-5}, \text{P} \rangle$

【請求項13】 Dが各々独立して一SH、一NHOH、一SO, H、一OSO, H、一CONH, 、一CONH、一P(OH), 、一P(OH), 、一P(OH), 、一P(OH), 、一P(OH), 、一P(OH), 、一P(OH), 、一P(OH), 、一O一PO(OH), 、一O一PO(OH), 、一O一PO(O)一O一CH, CH, NH, '、一グリコシド、一O一CH, 一(CHOH), 一CH, OH、一O一CH, 一(CHOH), 一CHOH、一C。H,(OH), 、一N'HR, R、又は一N'HR, R、R。(式中、R、R、R、R、及びR。は各々独立してC」。アルキルであり、Arは各々独立してアリールである)である請求項11記載の化合物。

【請求項14】 下記式:

F(-E), (OH).

[式中、Fはフレレンコアであり、Eは各々独立してE , 、 E, 、 E, 、 E, 又は E, であり、 {ただし、 E, は各々独立して Y_i , Y_i -アミノ、(Y_i , Y_i -ア ルキル) アミノ、Y₁ , Y₁ -エチレンジアミノ、(ジ ヒドロキシメチル) アルキルアミノ、(X1, X,-ア リール) アミノ又は X_i , X_i -アリールオキシであり、 E 2 は各々独立して、 Y_1 , Y_2 - アルコキシ、 $(Y_1, Y_2 - P \ge J) P \mu \exists + \flat \land (Y_1, Y_2, Y_3)$, ーアリール)オキシ、(ジヒドロキシアルキル)アリ ールオキシ、(Y, , Y, , Y, −アルキル)アミノ、 (Y₁, Y₁, Y₁ - アリール) アミノ又はジヒドロキ 40 シアルキルアミノであり、E, は各々独立して、Y, Y_1 , Y_2 - PN - PNアルコキシ、(トリヒドロキシアルキル)アルキルアミ ノ、(ジカルボキシアルキル)アミノ、 (Y, , Y, , Y, -アルキル) チオ、(X, , X, -アリール) チ. オ、(Y_i , Y_i -アルキル)チオ、(ジヒドロキシア ルキル) チオ、Y₁ , Y₁ ージオキソアルキルであり、 E、は各々独立して((グリコシジル)オキソヘテロア リール) アミノ、((グリコシジル) オキソアリール) アミノ、 (X, , X, , X, -ヘテロアリール) アミ ルキルエステル、 C_{1-10} アリールエステル、 C_{1-10} アル 50 ノ、(X_1 -ジアリールケトン)アミノ、(X_1 X_1 -

オキソアリール)アミノ、(X, X, -ジオキソアリー ル) アミノ、(Y, -アルキル, Y, -アルキルジオキ ソヘテロアリール) アミノ、(Y, -アルキル, Y, -アルキルジオキソアリール) アミノ、(ジ(Y, Y, -メチル) ジオキソヘテロアリール) アミノ、 (ジ (Y , Y₁ -メチル)ジオキソアリール)アミノ、((グ リコシジル) ヘテロアリール) アミノ、((グリコシジ ル) アリール) アミノ、((カルボキシルアセチルアル キル) オキソヘテロアリール) アミノ、((カルボキシ ルアセチルアルキル)オキソアリール)アミノ、((イ ソプロピルアミノヒドロキシアルコキシ)アリール)ア ミノ又は(X,, X,, X, -アルキルアリール)アミ ノであり、そしてE。は各々独立して、(X, X, X, - ヘテロアリール) オキシ、 (イソプロピルアミノ ヒドロキシアルキル) アリールオキシ、(X,, X,, X_1 - x + y - x + y + x + y + xヘテロアリール) オキシ、(X, -ジアリールケトン) オキシ、(X, X, -オキソアリール)オキシ、

 $(X_1, X_2 - \vec{y} + Y_1) + (X_1, Y_2)$ $\mathbf{y} = \mathcal{Y} - \mathcal{Y} = \mathcal{Y} + \mathcal{Y} +$ - ヘテロアリール)チオ、((トリカルボキシルアルキ ル) エチレンジアミノ) アルコキシ、(X_i , X_i -オ キソアリール)チオ、(X, X, -ジオキソアリー ル) チオ、(グリコシジルヘテロアリール) チオ、(グ リコシジルアリール)チオ、Y₁ -アルキル (チオカル ボニル) チオ、Y, , Y, -アルキル (チオカルボニ ル)チオ、 Y_i , Y_i , Y_i - アルキル(チオカルボニ ル) チオ、(Y1, Y2-アミノチオカルボニル) チ オ、(ピラノシル)チオ、システイニル、チロシニル、 (フェニルアライニル) アミノ、(ジカルボキシアルキ ル) チオ、(アミノアリール) 1-10 アミノ又は(ピラノ シル)アミノであり、(ここで、Xは各々独立してハロ ゲン化物であり、X、及びX、は各々独立して-H、-Y1, $-O-Y_1$, $-S-Y_1$, $-NH-Y_1$, -CO $-O-Y_{1}$, $-O-CO-Y_{1}$, $-CO-NH-Y_{1}$, $-CO-NY_1Y_2$, $-NH-CO-Y_1$, $-SO_1$ 各々独立して、-Y,、-O-Y,、-S-Y,、-N $H-Y_1$, $-CO-O-Y_1$, $-O-CO-Y_1$, -C $O-NH-Y_1$, $-CO-NY_1$, Y_2 , -NH-CO- Y_1 , $-SO_1$, $-Y_1$, $-CHY_1$, Y_2 , ZU_2 , であり、そしてY, 、Y, 及びY, は各々独立して-B-Z である)

1-100 、 (C₁₋₁₀アルキルチオエーテル)₁₋₁₀。、 (C 6-40アリールチオエーテル),-100 、 (C7-60アルキル アリールチオエーテル)」-100 、 (C1-60アリールアル キルチオエーテル),-,。、(C,-s。アルキルエステ ル)₁₋₁₀₀ 、(C₁₋₁₀アリールエステル)₁₋₁₀₀ 、(C 8-10 アルキルアリールエステル) | -100 、 (C8-10 アリ ールアルキルエステル) .-. .。、-R-CO-O-(C 1-10アルキルエーテル) 1-100 、-R-CO-O-(C 1-10 アリールエーテル) 1-100 、-R-CO-O- (C 1-10 アルキルアリールエーテル) --100 、 -R-CO- $O-(C_{1-60}PU-NPN+NL-FN)_{1-100}$, (C 4-50 アルキルウレタン),-100 、 (C14-50 アリールウ レタン),-,,。、(C,,,,, アルキルアリールウレタ ン)₁₋₁₀, 、 (C₁₀₋₈, アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-soアルキルウレア) 1-100 、 (C14-60 アリールウレア) 1-100 、 (C10-80 80アルキルアリ ールウレア),-,,。、(C,,-,,0)アリールアルキルウ レア)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₅₀アルキルアミド)₁₋₁₀₀ 、 (C 7-60 アリールアミド) 1-100 、 (C8-70 アルキルアリー ルアミド)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₇₀アリールアルキルアミド) 1-100 、 (C:-10アルキル無水物) | -100 、 (C:-50ア リール無水物)」-」。。、(C,-。アルキルアリール無水 物)₁₋₁₀。、(C,-10アリールアルキル無水 物)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₁₀アルキルカーボネート)₁₋₁₀₀ 、 (C1-50アリールカーボネート)1-100 、 (C8-60アル キルアリールカーボネート)₁₋₁₀₀、(C₈₋₁₀アリール アルキルカーボネート),-,oo、-R, -O-CO-N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C₁₋₁₀アルキルエーテル、C₄₋₄₀アリールエーテ ル、C₁₋₁。アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₁。ア リールアルキルエーテル) .-.。、 -R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R; -Ar)-NH-CO -O-(C:-soアルキルエステル、C:-soアリールエス テル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。 アリールアルキルエステル),-,00、-R, -O-CO -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-C O-O-(C₁₋₁₀アルキルエーテル、C₆₋₁₀アリールエ ーテル、C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくはC 7-10 アリールアルキルエーテル) --10 - CO-NH-(R、若しくはAr-R、-Ar)-NH-CO-O -、-R, -O-CO-NH-(R,若しくはAr-R , -Ar) -NH-CO-O-(C,-soアルキルエステ ル、C₁₋₁₀アリールエステル、C₁₋₁₀アルキルアリール エステル若しくはC₁₋₁₀アリールアルキルエステル) 1-100 -R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr- $R_1 - Ar$) -NH-CO-O-, -R1-NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-C ーテル、C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくはC

-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar) -N $H-CO-O-(C_{1-5}, PN+NTAFN, C_{1-5}, PI)$ ールエステル、C₁₋₇₀アルキルアリールエステル若しく はC。-70アリールアルキルエステル),-100、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar) -NH-CO-O-(C₁₋₁,アルキルエーテル、C₆₋₁, アリールエーテル、C₁₋₁₀アルキルアリールエーテル若 しくはC₇₋₁₀アリールアルキルエーテル)₁₋₁₀。-CO -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-C O-O-、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくは Ar-R: -Ar) -NH-CO-O- (C:-:。アルキ ルエステル、C1-60アリールエステル、C8-70アルキル アリールエステル若しくはC₈₋₇。アリールアルキルエス テル)₁₋₁₀₀ -R, -O-CO-NH-(R, 若しくは $Ar - R_1 - Ar) - NH - CO - O - CO - R_1 - O -$ CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH -CO-NH-(C:-soアルキルアミド、C:-soアリー ルアミド、C₈₋₇₀アルキルアリールアミド若しくはC *-10アリールアルキルアミド),-100 又は-R1-NH -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-N H-CO-NH-(C:-soアルキルアミド、C:-soアリ ールアミド、C₈₋₁。アルキルアリールアミド若しくはC 8-70アリールアルキルアミド) 1-100 であり、そして2 は各々独立して-C-D-(式中、Cは各々独立して-R-, -R-Ar-, -Ar-R-Zd-Ar-rり、そしてDは各々独立して、-OH、-SH、-NH ., . -NHOH, -SO, H, -OSO, H, -COO H, $-CONH_1$, $-CO-NH-NH_1$, -CH (N H_1) -COOH, -P (OH), , -PO (O $H)_{1}$, $-O-PO(OH)_{1}$, $-O-PO(OH)_{2}$ O-PO(OH), -O-PO(O-)-O-CH, CH, NH, '、ーグリコシド、-OCH, 、-O-C $H_1 - (CHOH)_1 - CH_2 OH_3 - O-CH_4 (CHOH)_1 - CHOH_2 - C_1 H_2 (OH)_1 = -$ NH₁'、-N'HR₆R₆又は-N'HR₆R₆R₆ である) である。——(但し、R、R, 、R, 、R, 、 R. 、R. 、R. 及びR. は各々独立して、C₁₋₁。アル キルであり、そしてArは各々独立してアリールであ る) $\}$ 、nは $2\sim30$ であり、そしてmは $1\sim20$ であ る〕で表される化合物及びその塩。

【請求項15】 Fが C_{i0} 、 C_{7i} 、 C_{7i} 、 C_{1i} 、 C_{1i} 、 C_{1i} 、 C_{1i} 又は C_{7i} のフレレンコアである請求項14記載の化合物。

【請求項16】 Eが各々独立してE, 、E, 、E, 又はE, である請求項14記載の化合物。

【請求項17】 Eが各々独立してE, 、E, 又はE, である請求項14記載の化合物。

【請求項18】 X, が各々独立して-Y, 、-O-Y, 、-S-Y, 、-NH-Y, 、-CO-O-Y, 、-O-CO-Y, 、-CO-NH-Y, 、-CO-NY,

 Y_1 、 $-NH-CO-Y_1$ 、 $-SO_1$ $-Y_1$ 、 $-CHY_1$ Y、又は $-NY_1$ Y、である請求項17記載の化合物。

【請求項19】 Bが各々独立して-R. -O- [Si (CH₁), -O-]₁₋₁₀₀、C₁₋₁₀アリール、C₁₋₁₀ アルキルアリール、 C_{1-40} アリールアルキル、(C_{4-40} アリールエーテル) 1-100 、 (C1-10 アルキルアリール エーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₇₋₁₀アリールアルキルエーテ ル),-,00 、 (C,-,0アルキルチオエーテル),-,00 、 (C,-,,アリールチオエーテル),-,,,、(C,-,,アル キルアリールチオエーテル),-100 、 (C,-50アリール アルキルチオエーテル) 1-100 、 (1-50 アルキルエステ ル) $_{1-100}$ 、 $(C_{7-60}$ アリールエステル) $_{1-100}$ 、 (C8-70 アルキルアリールエステル) 1-100 、 (C8-70 アリ ールアルキルエステル),-,,,、-R-CO-O-(C 1-30 アルキルエーテル),-100 、-R-CO-O-(C 6-40アリールエーテル)1-100 : -R-CO-O- (C 7-10 アルキルアリールエーテル) 1-100 、-R-CO-O- (C, -, oアリールアルキルエーテル), -, o、 (C 4-50 アルキルウレタン) 1-100 、 (C14-60 アリールウ レタン)₁₋₁₀₀、(C₁₀₋₈₀ アルキルアリールウレタ ン)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₀₋₈₀ アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-50 アルキルウレア) 1-100 、 (C14-60 アリールウレア),-100 、 (C10-80 アルキルアリール ウレア)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₀₋₁₀ アリールアルキルウレア) 1-100 、 (C:-soアルキルアミド) 1-100 、 (C:-60ア リールアミド),-,00、(C,-,0アルキルアリールアミ ド)₁₋₁₀。、(C₈₋₇。アリールアルキルアミ ド)₁₋₁₀、、(C₁₋₁₀アルキル無水物)₁₋₁₀。、(C 8-50アリール無水物)₁₋₁₀₀、(C,-60アルキルアリー ル無水物)₁₋₁₀₀ 、 (C, -, 0アリールアルキル無水物) 1-100 、 (C₁₋₁₀アルキルカーボネート)₁₋₁₀0 、 (C 7-50アリールカーボネート),-100 、 (C8-40アルキル アリールカーボネート),-,o。、(C,-,oアリールアル キルカーボネート)₁₋₁₀。、-R, -O-CO-NH-(R. 若しくはAr-R. -Ar) -NH-CO-O- $(C_{1-1}, PN+NX-FN, C_{4-4}, PU-NX-FN,$ C₁-s₀アルキルアリールエーテル若しくはC₁-s₀アリー ルアルキルエーテル), -, 。。 、-R,-O-CO-NH - (R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O - (C:-;oアルキルエステル、C:-;oアリールエステ ル、C₈₋₁₀アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₁₀ア リールアルキルエステル) -- 100 、 - R 1 - O - C O -NH-(R. 若しくはAr-R. -Ar)-NH-CO -O-(C₁₋₁₀アルキルエーテル、C₆₋₄₀アリールエー テル、C₁₋₁。アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₁。 アリールアルキルエーテル) --- -- -- -- -- (R ,若しくはAr-R,-Ar)-NH-CO-O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A 50 r) -NH-CO-O- (C..., アルキルエステル、C

14

7-10 アリールエステル、C2-70 アルキルアリールエステ ル若しくはC。-,。アリールアルキルエステル),-,。 -R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A $r) - NH - CO - O - \langle -R_1 - NH - CO - NH - \rangle$ (R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C1-10アルキルエーテル、C6-40アリールエーテル、 C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₆₀アリー ルアルキルエーテル) -- 100 、 - R 1 - NH - CO - N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O- (C₁₋₅, アルキルエステル、C₁₋₆, アリールエステ ル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。ア リールアルキルエステル),-,oo、-R, -NH-CO -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-C $O-O-(C_1, P)$ ーテル、C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくはC 1-60 アリールアルキルエーテル) --100 -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar) -NH-CO-O -、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-テル、C₁₋₆₀アリールエステル、C₈₋₇₀アルキルアリー ルエステル若しくはC_{*-7}。アリールアルキルエステル) ı-:00 -R, -O-CO-NH-(R. 若しくはAr-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -NH-(C:-soアルキルアミド、C:-soアリールアミ ド、C₈₋₇。アルキルアリールアミド若しくはC₈₋₇。アリ ールアルキルアミド),-,,, 又は-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO $-NH-(C_{2-50}PN+NPSF, C_{7-60}PJ-NPS$ ド、C₈₋₁。アルキルアリールアミド若しくはC₈₋₁。アリ ールアルキルアミド)、-、。であり、R、R、、R、、 R、及びR、の各々独立して C_{1-1} 。アルキルであり、そ してArが各々独立してアリールである請求項18記載 の化合物。

【請求項20】 Dが各々独立して-SH、-NHO H. -SO, H. -OSO, H. -CONH, . -CO $-NH-NH_{2}$, -CH $(NH_{2}$) -COOH, -P(OH), (-PO)(OH), -O-PO(O $H)_{1}$, $-O-PO(OH)_{1}$, $-O-PO(OH)_{2}$, $-O-PO(OH)_{3}$ O-PO(O) -O-CH, CH, NH, '、-グリコ シド、-O-CH, - (CHOH), -CH, OH、- $O-CH_{i}$ - (CHOH), -CHOH, -C, H , (OH),、-N'HR,R,又は-N'HR,R, R。(式中、R、R。、R。及びR。は各々独立してC 1-10 アルキルであり、Arは各々独立してアリールであ る)である請求項18記載の化合物。

n=4~20である請求項14記載の 【請求項21】 化合物。

【請求項22】 Eが各々独立してE、又はE。である 請求項21記載の化合物。

X, が各々独立して-Y, 、-O-Y 【請求項23】 $_{1}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{4}$ $_{5}$ $_{7}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{7}$ $_{1}$ $_{1}$ $_{1}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{4}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{7}$ $_{1}$ $_{1}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{4}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{1}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{4}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{1}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{4}$ $_{5}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{1}$ $_{5}$ $_{1}$ $_{2}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{1}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{3}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{3}$ $_{3}$ $_{2}$ $_{3}$ $O-CO-Y_1$, $-CO-NH-Y_1$, $-CO-NY_1$ Y_i , $-NH-CO-Y_i$, $-SO_i$ $-Y_i$, -CHY, Y, 又は-NY, Y, である請求項22記載の化合 物。

【請求項24】 Bが各々独立して-R。-O-[Si $(CH_3)_1 - O -]_{1-100}$, C_{6-40} $P \cup U - U$, C_{7-60} アルキルアリール、C₁-。。アリールアルキル、(C。-。。 アリールエーテル):-100 、 (C7-60 アルキルアリール エーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₇₋₆₀アリールアルキルエーテ ル)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₃₀アルキルチオエーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₁₀アリールチオエーテル)₁₋₁₀₀、(C₇₋₆₀アル キルアリールチオエーテル) 1-100 、 (C,-60アリール アルキルチオエーテル):-:oo、(C:-soアルキルエス テル),-100 、 (C₇₋₆₀アリールエステル),-100 、 (C₈₋₇0アルキルアリールエステル)₁₋₁₀₀、(C₈₋₇0 アリールアルキルエステル) .-..。、-R-CO-O-(C₁₋₁, アルキルエーテル) ₁₋₁, 、-R-CO-O-(C₁₋₁₀アリールエーテル)₁₋₁₀₀、-R-CO-O- $(C_{1-60}PN+NPU-NX-FN)_{1-100}$, -R-C $O-O-(C_{1-10}P)-NPN+NT-FN)_{1-100}$ (C₄₋₅₀ アルキルウレタン)₁₋₁₀ 、 (C₁₄₋₆₀ アリー ルウレタン),-,,。、(C,,-,, アルキルアリールウレ 9 λ) 1-100 λ (C10-10 λ 10 λ 10 1-100 、 (Cs-soアルキルウレア) 1-100 、 (C14-60 アリールウレア), - , 。、(C, , - , 。アルキルアリール ウレア),,,,,,、(C,,,,,アリールアルキルウレア) 1-100 、 (C₂₋₅₀アルキルアミド) | -100 、 (C₁₋₆₀ア リールアミド)₁₋₁₀₀、 (C₈₋₇₀アルキルアリールアミ ド) $_{1-100}$ 、 $(C_{8-70}$ アリールアルキルアミ ド),-,00、(C,-,0アルキル無水物),-,00、(C 8-50 アリール無水物)」-100 、 (C,-60 アルキルアリー ル無水物)₁₋₁₀₀ 、(C, 20アリールアルキル無水物) 1-100 、 (C₂₋₁₀アルキルカーボネート)₁₋₁₀。、 (C 7-so アリールカーボネート),-100 、 (Cs-so アルキル アリールカーボネート),-,00 、 (C,-,0アリールアル キルカーボネート),,,,,,、-R, -O-CO-NH-(R2若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C₁₋₁。アルキルエーテル、C₄₋₁。アリールエーテル、 C₁₋₆。アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₆。アリー ルアルキルエーテル) -- 100 、 - R, -O-CO-NH - (R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O $-(C_{1-50}PN+NTAFN, C_{1-10}PJ-NTAF$ ル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。ア リールアルキルエステル),-,00、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R,-Ar)-NH-CO -O-(C,-,,アルキルエーテル、C,-,,アリールエー テル、C₇₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくはC₇₋₆₀ 50 アリールアルキルエーテル) -- co-NH-(R

』若しくはAr-R,-Ar)-NH-CO-O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A r) -NH-CO-O-(C₁₋₅₀アルキルエステル、C 7-60 アリールエステル、C8-70 アルキルアリールエステ ル若しくはC₈₋₇。アリールアルキルエステル)₁₋₁₀。 -R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A r) -NH-CO-O-, -R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C₁₋₁,アルキルエーテル、C₁₋₁,アリールエーテル、 C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₆₀アリー ルアルキルエーテル) 1-100 、 -R1 -NH-CO-N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O- (C₁₋₅, アルキルエステル、C₁₋₆, アリールエステ ル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。ア リールアルキルエステル) 1-100 、 - R1 - NH-CO -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-C O-O-(C₁₋₃。アルキルエーテル、C₆₋₁。アリールエ ーテル、C₁₋₆₀アルキルアリールエーテル若しくはC 7-10アリールアルキルエーテル) --100 -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O -、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R: -Ar) -NH-CO-O- (C:..oアルキルエス テル、C1-60アリールエステル、C8-70アルキルアリー ルエステル若しくはC:.,。アリールアルキルエステル) ı-ıoo -R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr- $R_{i} - Ar) - NH - CO - O - , -R_{i} - O - CO -$ NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -NH-(C1-50アルキルアミド、C1-60アリールアミ ド、C₈₋₇。アルキルアリールアミド若しくはC₈₋₇。アリ ールアルキルアミド) ...。又は-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO $-NH-(C_{1-50}PN+NPSF, C_{1-50}PU-NPS$ ド、C₈₋₇₀アルキルアリールアミド若しくはC₈₋₇₀アリ ールアルキルアミド),-,o。であり、R、R。、R。、 R, 及びR, が各々独立してC,-,。アルキルであり、そ してArが各々独立してアリールである請求項23記載 の化合物。

【請求項25】 Dが各々独立して-SH、-NHOH、-SO, H、-OSO, H、-CONH; 、-CO-NH-NH, 、-CH (NH,) -COOH、-P (OH), 、-PO(OH), 、-O-PO(OH), 、-O-PO(OH), 、-O-PO(OH), 、-O-PO(OH), 、-O-PO(OH), 、-O-CH, CH, NH, 、 -グリコシド、-O-CH, - (CHOH), -CH, OH、-O-CH, - (CHOH), -CHOH、-C, H, (OH), 、-N'HR、R、R、R、QびR、は各々独立してC, アルキルであり、Arは各々独立してアリールである)である請求項23記載の化合物。

【請求項26】 下記式:

 $F(-E)_{a}$ [式中、Fはフレレンコアであり、Eは各々に独立して E_1 、 E_2 、 E_3 、 E_4 、 E_4 又 dE_5 で abb 、 bbb bbb 、 bbbは各々独立して、Y」、Y、-アミノ、(Y」、Y、 -アルキル) アミノ、Y, , Y, -エチレンジアミノ、 (ジヒドロキシメチル) アルキルアミノ、 (X_1, X_2) -アリール) アミノ又はX₁, X₁ -アリールオキシで あり、E、は各々独立して、Y,,Y,-アルコキシ、 $(Y_1, Y_2 - P \ge J) P \mathcal{W} = \mathcal{W} + \mathcal{W} +$ 10 , -アリール) オキシ、(ジヒドロキシアルキル) アリ ールオキシ、(Y₁ , Y₁ , Y , -アルキル)アミノ、 (Y₁, Y₁, Y₂, -アリール) アミノ又はジヒドロキ シアルキルアミノであり、E, は各々独立して、Y,, Y1, Y1 - アルコキシ、(トリヒドロキシアルキル) アルコキシ、(トリヒドロキシアルキル)アルキルアミ ノ、(ジカルボキシアルキル)アミノ、(Y,,Y,, Y, -アルキル) チオ、 ·(X, , X, -アリール) チ オ、(Y, , Y, ーアルキル)チオ、(ジヒドロキシア ルキル) チオ、Y₁ , Y₂ ージオキソアルキルであり、 20 E. は各々独立して、((グリコシジル) オキソヘテロ アリール) アミノ、((グリコシジル) オキソアリー ル) アミノ、 $(\dot{X}_i$, \dot{X}_i , \dot{X}_i , \dot{X}_i ーヘテロアリール) ア ミノ、 (X, -ジアリールケトン) アミノ、 (X, X, -オキソアリール) アミノ、(X, X, -ジオキソアリ ール) アミノ、 (Y, -アルキル, Y, -アルキルジオ キソヘテロアリール) アミノ、 (Y, -アルキル, Y, -アルキルジオキソアリール) アミノ、(ジ(Y,, Y · -メチル) ジオキソヘテロアリール) アミノ、(ジ $(Y_1, Y_2 - メチル)$ ジオキソアリール) アミノ、 ((グリコシジル)ヘテロアリール)アミノ、((グリ コシジル) アリール) アミノ、((カルボキシルアセチ ルアルキル)オキソヘテロアリール)アミノ、((カル ボキシルアセチルアルキル)オキソアリール)アミノ、 ((イソプロピルアミノヒドロキシアルコキシ)アリー ν) アミノ又は(X_i , X_i , X_i -アルキルアリー ル) アミノであり、E, は各々独立して、(X,, X:, X: - ヘテロアリール) オキシ、 (イソプロピル アミノヒドロキシアルキル) アリールオキシ、 (X,, X_1 , X_1 -オキソヘテロアリール) オキシ、 $(X_1$, 40 X₁ , X₁ -オキソアリール) オキシ、 (X₁ , Y₁ -オキソヘテロアリール) オキシ、(X, -ジアリールケ トン) オキシ、(X, X, -オキソアリール) オキシ、 (X₁, X₁ -ジオキソアリール) オキシ、(Y₁, Y ₁ -ジ-アミノジヒドロキシ) アルキル、(X, , X, ーヘテロアリール)チオ、((トリカルボキシルアルキ ル) エチレンジアミノ) アルコキシ、(X, , X, -オ キソアリール)チオ、(X,,X,-ジオキソアリー ル) チオ、(グリコシジルヘテロアリール)ヂオ、(グ リコシジルアリール)チオ、Y₁ -アルキル (チオカル

50 ボニル) チオ、Y, , Y, -アルキル (チオカルボニ

ル) チオ、Y₁ , Y₂ , Y₃ - アルキル (チオカルボニ ル) チオ、(Y, , Y, -アミノチオカルボニル) チ オ、 (ピラノシル) チオ、システイニル、チロシニル、 (フェニルアライニル) アミノ、 (ジカルボキシアルキ ル)チオ、(アミノアリール)1-20アミノ又は(ピラノ シル)アミノであり、(ここでXは互いに独立してハロ ゲン化物であり、X、及びX、は各々独立して-H、- Y_1 , $-O-Y_1$, $-S-Y_1$, $-NH-Y_1$, -CO $-O-Y_{i}$, $-O-CO-Y_{i}$, $-CO-NH-Y_{i}$, $-CO-NY_1Y_2$, $-NH-CO-Y_1$, $-SO_2$ Y_1 , $-CHY_1$, Y_2 , $ZUU-NY_1$, Y_2 , UU, UU, UU, UU各々独立して、一Y、、一〇一Y、、一S一Y、、一N $H-Y_1$, $-CO-O-Y_1$, $-O-CO-Y_1$, -C $O-NH-Y_{i}$, $-CO-NY_{i}$ Y_{i} , -NH-CO- Y_1 , $-SO_2$, $-Y_1$, $-CHY_1$, Y_2 , $Zd-NY_1$, Y, であり、そしてY, 、Y, 及びY, は各々独立して-B-Zである)

H;), -O-],-,00 、C,-,000アルキル、C,-,0ア リール、C₁₋₆₀アルキルアリール、C₁₋₆₀アリールアル キル、(C₁₋₁₀アルキルエーテル)₁₋₁₀₀、(C₆₋₄₀ア リールエーテル)」-」。。、 (C7-60アルキルアリールエ ーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₇₋₆₀ アリールアルキルエーテル) 1-100 、 (C₁₋₁₀アルキルチオエーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C 1-40 アリールチオエーテル) 1-100 、 (C₁-60 アルキル アリールチオエーテル),-100 、 (C1-60アリールアル キルチオエーテル) 1-100 、 (C2-50 アルキルエステ ル) $_{1-100}$ 、 (C_{7-10} アリールエステル) $_{1-100}$ 、 (C8-70 アルキルアリールエステル) | -100 、 (C8-70 アリ ールアルキルエステル),-,,,、-R-CO-O-(C 1-10アルキルエーテル) 1-100 、-R-CO-O-(C 4-40アリールエーテル)1-100 、-R-CO-O- (C 1-60 アルキルアリールエーテル) 1-100 、 -R-CO-O- (C,-,,アリールアルキルエーテル),-,,。、(C 1-so アルキルウレタン) --100 、 (C11-60 アリールウ レタン)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₀₋₈₀ アルキルアリールウレタ ン)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₀₋₈₀ アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-50アルキルウレア) 1-100 、 (C14-60 アリールウレア),-,。、 (C,,,,, アルキルアリール ウレア)₁₋₁₀₀、(C₁₀₋₈0 アリールアルキルウレア) 1-100 、 (C₂₋₅₀アルキルアミド) ₁₋₁₀₀ 、 (C₇₋₆₀ア リールアミド),-,00、(C,-,0アルキルアリールアミ ド) $_{1-100}$ 、 (C_{8-70} アリールアルキルアミ ド)₁₋₁₀₀、(C, -,0アルキル無水物), -, 0 0、(C8-50アリール無水物)」-,00、(C9 -60アルキルアリール無水物), -, 00、(C9-60アリールアルキル無水物), -, 00、(C2-, 0アルキルカーボネート),-,。、(C,-,,アリールカ ーボネート)、-、、。。、(C。-。。アルキルアリールカーボ

ト)₁₋₁₀、、-R₁ -O-CO-NH-(R₂ 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-O-(C_{1-1},r)$ ルエーテル、C₁₋₁₀アリールエーテル、C₁₋₁₀アルキル アリールエーテル若しくはC、・・・アリールアルキルエー テル)₁₋₁₀₀、-R₁-O-CO-NH-(R₂ 若しく はAr-R: -Ar) -NH-CO-O- (C:-50アル キルエステル、C, , , アリールエステル、C, , , アルキ ルアリールエステル若しくはC。- 1。アリールアルキルエ ステル)₁₋₁₀₀ 、-R₁ -O-CO-NH-(R₂ 若し $\langle \text{tAr} - \text{R}_1, - \text{Ar} \rangle - \text{NH} - \text{CO} - \text{O} - \langle \text{C}_{1-1}, \text{r} \rangle$ ルキルエーテル、C。-、。アリールエーテル、C₁-、。アル キルアリールエーテル若しくはC,、。。アリールアルキル エーテル) 1-100 - CO-NH-(R, 若しくはAr-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -O-(C₁₋₅。アルキルエステル、C₁₋₅。アリールエス テル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。 アリールアルキルエステル)₁₋₁₀。-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -O-、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはA r-R, -Ar) -NH-CO-O- (C₁₋₁₀アルキル エーテル、C。-、。アリールエーテル、C、-。。アルキルア リールエーテル若しくはC,、。アリールアルキルエーテ ル)₁₋₁₀、、-R, -NH-CO-NH-(R. 若しく $dAr - R_1 - Ar) - NH - CO - O - (C_{1-5}, T)$ キルエステル、C₁₋₁₀アリールエステル、C₈₋₇₀アルキ ルアリールエステル若しくはC。こ、アリールアルキルエ ステル)₁₋₁₀₀、-R₁-NH-CO-NH-(R₂ 若 $U < U \land r - R_1 - A_1 - NH - CO - O - (C_{1-10})$ アルキルエーテル、C₆₋₄。アリールエーテル、C₇₋₆。ア ルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₆₀アリールアルキ ルエーテル)」-」。。 - CO-NH-(R. 若しくはAr O-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C:-soアルキルエステル、Cr-soアリール エステル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC 8-70 アリールアルキルエステル),-100 - R, -O-C O-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-NH-(C_{1-10}T)$ キルアミド、C₁₋₆₀アリールアミド、C₈₋₇₀アルキルア リールアミド若しくはC_{*・1}。アリールアルキルアミド) ı-ı。 又は-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-NH-(C_{1-50}P)$ キルアミド、C1-60アリールアミド、C8-70アルキルア リールアミド若しくはC_{*-1}。アリールアルキルアミド) 1-100 であり、そして2は各々独立して-C-D-(式 中、各Cは各々独立して、-R-、-R-Ar-、-A r-R-又は-Ar-であり、そしてDは各々独立して ネート)₁₋₁₀₀、 (C₁₋₆₀アリールアルキルカーボネー 50 -OH、-SH、-NH: 、-NHOH、-SO, H、

-OSO, H, -COOH, -CONH, , -CO-N $H-NH_1$, -CH (NH_1) -COOH, -P (OH), -PO(OH), -O-PO(OH), -O-PO (OH) -O-PO (OH), , -O-PO(O-) -O-CH, CH2NH, '、-グリコシド、 $-OCH_1$, $-O-CH_1$ - (CHOH), $-CH_1$ O H' - O - CH' - (CHOH)' - CH' OH' - C $_{6}$ H_{1} (OH) $_{2}$, $-NH_{1}$, -N' H_{{2} R_{{3}} , -N* +HR。R、又は-N* +HR。R、R。である) で ある。— (但し、R、R, 、R, 、R, 、R, 、 R.、R. 及びR. は互いに独立して、C...,。アルキル であり、そしてArは各々独立してアリールであ る。) } そしてnは2~30である] で表されるポリ有 機フレレン誘導体の製造方法であって、ポリニトロフレ レン又はポリシクロ硫酸化フレレン中間体を得ること、 及びこの中間体を求核性試薬と接触させて、上記の式に よってカバーされる相当するポリ有機フレレン誘導体を 製造することからなる方法。

【請求項27】 中間体がポリニトロフレレンである請 求項26記載の方法。

中間体がポリシクロ硫酸化フレレンで 【請求項28】 ある請求項26記載の方法。

【請求項29】 更に、このようにして得られたポリ有 機フレレン誘導体を加水分解して、下記式:

F(-E), (OH).

(式中、mは1~20である)の相当するポリヒドロキ シ有機フレレン誘導体を得ることからなる請求項27記 載の方法。

【請求項30】 更に、このようにして得られたポリ有 機フレレン誘導体を加水分解して、下記式: F(-E) (OH).

(式中、mは1~20である)の相当するポリヒドロキ シ有機フレレン誘導体を得ることからなる請求項28記 載の方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、ポリ有機フレレン 類およびその製造方法に関する。

[0002]

見以来、多数のそのポリ置換誘導体が報告されてきた。 例えば、ポリアルキルフレレン誘導体は、フレレンを有 機アルキルリチウム又はアルキルグリニャール試薬と、 次いでハロゲン化アルキルと反応させる [Wudl等、ACS Symp. Ser.、1992年、481 巻、161 頁] か又は有機ラジ カルと直接反応させる [Krusic等、Science 、1991年、 254 巻、1183頁] ことによって製造することができる。 他方、エノン類はフレレンと反応して、ポリシクロアル キルフレレン誘導体を与える [Wilson等、J. Am. Chem. Soc. 、1993年、115 巻、8495頁]。他の例として、ポ 50

リアルキルアミノフレレン誘導体は、フレレンをアルキ ルアミンと反応させることによって合成される [Hirsch 等、Angew.Chem. Int. Ed. Engl. 、1991年、30巻、130 9頁]。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記反 応のあるものは、低い収率及び長い反応時間の欠点を有

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明の態様は、下記 : 先

F.(-E)

【0005】 [式中、Fはフレレンコアであり、Eは各 々に独立してE、、E、、E、、E、又はE、であり、 {ただし、

【0006】E, は各々独立して、Y, , Y, -アミ J, $(Y_1, Y_2, -T)$ チレンジアミノ、(ジヒドロキシメチル)アルキルアミ ノ、 $(X_1, X_2, -7)$ ール)アミノ又は $X_1, X_2, -$ アリールオキシであり、E、は各々独立して、Y、、Y 1 - アルコキシ、 (Y₁, Y₁ - アミノ) アルコキシ、 (Y, , Y, , Y, -アリール) オキシ、(ジヒドロキ シアルキル) アリールオキシ、(Y,,Y,,Y,-ア ルキル) アミノ、 $(Y_1, Y_2, Y_3 - P リール) アミ$ ノ又はジヒドロキシアルキルアミノであり、

【0007】E, は各々独立して、Y, , Y, , Y, -アルコキシ、(トリヒドロキシアルキル)アルコキシ、 (トリヒドロキシアルキル) アルキルアミノ、(ジカル ボキシアルキル) アミノ、(Y,,Y,,Y,-アルキ 30 ル) チオ、 (X, , X, -アリール) チオ、 (Y, , Y · -アルキル)チオ、(ジヒドロキシアルキル)チオ、 Y_1 , $Y_2 - \mathcal{Y} + \mathcal$

【0008】E、は各々独立して、((グリコシジル) オキソヘテロアリール) アミノ、((グリコシジル) オ キソアリール) アミノ、(X,, X,, X, - ヘテロア リール) アミノ、 (X, -ジアリールケトン) アミノ、 (X, X, - オキソアリール) アミノ、 <math>(X, X, - i)オキソアリール) アミノ、(Y, -アルキル, Y, -ア ルキルジオキソヘテロアリール)アミノ、(Y, -アル 【従来の技術】フレレン(fullerene) 類の発 40 キル, Y, -アルキルジオキソアリール) アミノ、(ジ (Y₁, Y₂ -メチル) ジオキソヘテロアリール) アミ ノ、(ジ(Y₁ , Y₁ -メチル)ジオキソアリール)ア ミノ、((グリコシジル)へテロアリール)アミノ、 ((グリコシジル)アリール)アミノ、((カルボキシ ルアセチルアルキル)オキソヘテロアリール)アミノ、 ((カルボキシルアセチルアルキル)オキソアリール) アミノ、((イソプロピルアミノヒドロキシアルコキ シ) アリール) アミノ又は (X, , X, , X, -アルキ ルアリール)アミノであり、

【0009】E, は各々独立して、(X,, X,, X,

- ヘテロアリール)オキシ、(イソプロピルアミノヒド ロキシアルキル) アリールオキシ、 (X_i, X_i, X_i) -オキソヘテロアリール) オキシ、 (X_i, X_i, X_i) -オキソアリール) オキシ、(X,,Y,-オキソヘテ ロアリール) オキシ、(X, -ジアリールケトン) オキ シ、(X, X, -オキソアリール) オキシ、(X, X , -ジオキソアリール) オキシ、(Y₁, Y₂ -ジ-ア ミノジヒドロキシ) アルキル、(X, , X, -ヘテロア リール)チオ、((トリカルボキシルアルキル)エチレ ンジアミノ) アルコキシ、(X, , X, -オキソアリー μ) チオ、(X_{ij} , X_{ij} - ジオキソアリール)チオ、 (グリコシジルヘテロアリール)チオ、(グリコシジル アリール) チオ、Y₁ -アルキル (チオカルボニル) チ オ、Y」, Y, -アルキル(チオカルボニル)チオ、Y ,,Y,,Y,-アルキル(チオカルボニル)チオ、 (Y₁, Y₂ -アミノチオカルボニル)チオ、(ピラノ シル)チオ、システイニル、チロシニル、(フェニルア ライニル)アミノ、(ジカルボキシアルキル)チオ、 (アミノアリール) 1-10 アミノ又は (ピラノシル) アミ ノであり、

【0010】(ここでXは互いに独立してハロゲン化物 であり、 X_i 及び X_i の各々独立して-H、 $-Y_i$ 、- $O - Y_1$, $-S - Y_1$, $-NH - Y_1$, -CO - O - Y \cdot , $-O-CO-Y_1$, $-CO-NH-Y_1$, -CO- $NY_1 Y_2$, $-NH-CO-Y_1$, $-SO_1-Y_1$, -CHY, Y, 又は-NY, Y, であり、X, は各々独立 $\mathsf{LT}, -\mathsf{Y}_1, -\mathsf{O}-\mathsf{Y}_1, -\mathsf{S}-\mathsf{Y}_1, -\mathsf{NH}-\mathsf{NH}$ Y_1 , $-CO-O-Y_1$, $-O-CO-Y_1$, -CO- $NH-Y_1$, $-CO-NY_1$ Y_2 , -NH-CO- Y_i , $-SO_i$ $-Y_i$, $-CHY_i \cdot Y_i$ $Xkl-NY_i$ Yであり、そしてY₁、Y₂及びY₁の各々独立して-B-Zである)

【0011】----式中、Bは各々独立して、-R. -O - [Si (CH,), -O-],-100 、C,-2000アルキ ル、C₁₋₁₀アリール、C₁₋₁₀アルキルアリール、C₁₋₁₀ アリールアルキル、(C₁₋₁₀アルキルエーテ ル) $_{1-100}$ 、 (C_{6-40} アリールエーテル) $_{1-100}$ 、 (C1-60アルキルアリールエーテル) 1-100 、 (C1-60アリ ールアルキルエーテル)₁₋₁₀₀、(C₁₋₃₀アルキルチオ エーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₁₀アリールチオエーテル) 1-100 、 (C₁₋₆₀アルキルアリールチオエーテル) 1-100 、 (C,-60 アリールアルキルチオエーテル) 1-100 、 (C₂₋₅₀ アルキルエステル) ₁₋₁₀₀ 、 (C₇₋₆₀ アリールエステル) 1-100 、 (C8-70アルキルアリ ールエステル)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₇₀アリールアルキルエス テル)₁₋₁₀₀、-R-CO-O-(C₁₋₃₀アルキルエー テル) 1-100 、 -R-CO-O- (C.10アリールエー テル)₁₋₁₀₀、-R-CO-O-(C₁₋₆₀アルキルアリ ールエーテル) $_{1-100}$ 、 $-R-CO-O-(C_{1-10}$ アリ ールアルキルエーテル) 1-100 、 (C1-50アルキルウレ 50 CO-O-(C1-50アルキルエステル、C1-50アリール

 $(S_{1}, S_{1}, S_{1}$ (C₁₀₋₈, アルキルアリールウレタン)₁₋₁₀, 、(C 10-80 アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-50ア ルキルウレア)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₄₋₆₀ アリールウレア) 1-100 、 (C₁₀₋₈₀ アルキルアリールウレア)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₀₋₈₀ アリールアルキルウレア)₁₋₁₀₀ 、 (C₂₋₅₀ アルキルアミド) $_{1-100}$ 、 (C_{7-60} アリールアミド) 1-100 、 (C₈₋₇₀アルキルアリールアミド)₁₋₁₀₀、 (C₈₋₇₀アリールアルキルアミド)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₁₀ア 10 ルキル無水物)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₅₀アリール無水物) 1-100 、 (C,-60 アルキルアリール無水物),-100 、 (C,-,0アリールアルキル無水物),-,00、(C,-,0ア ルキルカーボネート)₁₋₁₀₀、(C₁₋₅₀アリールカーボ ネート)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₆₀ アルキルアリールカーボネー ト)₁₋₁₀₀ 、 (C8-60アリールアルキルカーボネー ト)₁₋₁₀₀ 、-R₁ -O-CO-NH-(R₂ 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-O-(C_{1-10}P)$ ルエーテル、C...。アリールエーテル、C...。アルキル アリールエーテル若しくはC₁₋₆₀アリールアルキルエー テル) 1-100 、 - R1 - O - C O - N H - (R, 若しく $\mathsf{tAr} - \mathsf{R}_1 - \mathsf{Ar}) - \mathsf{NH} - \mathsf{CO} - \mathsf{O} - (\mathsf{C}_{1-5}, \mathsf{T})$ キルエステル、C₁₋₆。アリールエステル、C₈₋₇。アルキ ルアリールエステル若しくはC。ハアリールアルキルエ ステル)₁₋₁₀₀、-R₁-O-CO-NH-(R, 若し $\langle \text{tAr} - \text{R}_{1} - \text{Ar} \rangle - \text{NH} - \text{CO} - \text{O} - (\text{C}_{1-1}, \text{P}_{1})$ ルキルエーテル、C,-,oアリールエーテル、C,-,oアル キルアリールエーテル若しくはC₁₋₆₀アリールアルキル エーテル)₁₋₁₀₀ - CO-NH-(R, 若しくはAr- $R_i - Ar$) -NH-CO-O-, $-R_i - O-CO-$ NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -O-(C₁₋₅, アルキルエステル、C₁₋₆, アリールエス テル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。 アリールアルキルエステル) 1-100 - R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -O-、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはA $r-R_1-A_1$ $-NH-CO-O-(C_{1-10}TN+N)$ エーテル、C₆₋₄₀アリールエーテル、C₇₋₆₀アルキルア リールエーテル若しくはC,-,。アリールアルキルエーテ ル) 1-100 、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しく はAr-R, -Ar) -NH-CO-O-(C:-50アル キルエステル、C₁₋₁。アリールエステル、C₈₋₇。アルキ ルアリールエステル若しくはC₈₋₇。アリールアルキルエ ステル),-,。、 - R, - NH - CO - NH - (R, 若 $U < U \land T - R_1 - A_1 - NH - CO - O - (C_{1-10})$ アルキルエーテル、C...。アリールエーテル、C...。ア ルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₁。アリールアルキ ルエーテル),-,,。 - CO-NH-(R. 若しくはAr $-R_1$ -A r) -NH-CO-O-, $-R_1$ -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-

40

エステル、 C_{s-70} アルキルアリールエステル若しくは C_{s-70} アリールアルキルエステル) $_{s-100}$ $-R_s$ -O-C $O-NH-(R_s$ 若しくは $Ar-R_s$ -Ar) $-NH-CO-NH-(R_s$ 若しくは $Ar-R_s$ -Ar) $-NH-CO-NH-(C_{s-50}$ アルキルアミド、 C_{s-60} アリールアミド、 C_{s-10} アルキルアリールアミド若しくは C_{s-10} アリールアルキルアミド) $_{s-100}$ 又は $_{s-10}$ アリールアルキルアミド) $_{s-100}$ 又は $_{s-10}$ アリールアミド $_{s-10}$ アルキルアミド、 $_{s-10}$ アルキルアミド、 $_{s-10}$ アルキルアミド、 $_{s-10}$ アルキルアミド、 $_{s-10}$ アルキルアミド、 $_{s-10}$ アルキルアミド) $_{s-100}$ であり、そして

【0012】Zは各々独立して-C-D-(式中、各C は各々独立して、一R一、一R一Ar一、一Ar-R-又は一Ar一であり、そしてDは各々独立して一OH、 -SH. -NH: . -NHOH. -SO: H. -OSO , H. -COOH, -CONH, , -CO-NH-NH : . -CH (NH:) -COOH, -P (OH); . -PO (OH), . -O-PO (OH), . -O-PO (OH) - O - PO (OH), (O - PO (O - PO-CH, CH, NH, '、-グリコシド、-OCH $3. -O-CH2-(CHOH)_1-CH_2OH_2-OH_3$ $-CH_{i}$ - (CHOH), $-CH_{i}$ OH, $-C_{i}$ H (OH), -NH, -N'H, R, -N'HR、R、又は-N'HR、R、R、である)である。— びR。は互いに独立して、C、・・、。アルキルであり、そし TArは各々独立してアリールである。) } そしてnは 2~30である]で表されるで表されるポリ有機フレレ ン誘導体又はその塩に関する。

【0013】このような塩は、上記式の化合物とこの化合物のイオン化性基の対イオン(例えば、ナトリウム、アンモニウム及びカリウムイオンは、この化合物のカルボキシル単位の対イオンである)との間で形成させることができる。本明細書に於いて、フレレンコアは、炭素原子、例えばC₁₀、C₁₀H₁、C₁₀、C₁₀H₁、C₁₀、C₁₀H₁、C₁₁、C₁₁H₁、C₁₁C₁₁H₁ C₁₁C₁₁H₁ C₁₁C₁₁H₁

【0014】上記式で表される本発明に包含される誘導体の一群は、Eが各々独立して E_1 、 E_1 、 E_2 又は E_3 であること特徴とするものである。上記式で表される本発明に包含される誘導体の別の群は、Eが各々独立して E_1 、 E_1 又は E_2 であることによって特徴付けられる。好ましくは、 E_2 、は各々独立して E_3 、 E_4 、 E_4 、 E_5 であることによって特徴付けられる。好ましくは、 E_7 、 E_7 、 E_7 、 E_7 、 E_7 であることによって特徴付けられる。好ましくは、 E_7 、 E_7 であることによって特徴付けられる。好ましくは、 E_7 、 E_7 であることによって特徴付けられる。好ましくは、 E_7 、 E_7

a-O- [S i (CH₁), -O-] $_{1-100}$, $C_{6-40}\mathcal{T}$ リール、C7-60アルキルアリール、C7-60アリールアル キル、 (C₁₋₄₀アリールエーテル) 1-100 、 (C₁₋₆₀ア ルキルアリールエーテル),-,o。、(C,-,oアリールア ルキルエーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₁₀ アルキルチオエーテ \mathcal{L} \mathcal{L} (C₁₋₅₀アルキルアリールチオエーテル)₁₋₁₀₀、(C 1-50 アリールアルキルチオエーテル),-100 、 (C:-50 アルキルエステル),-,oo、(C,-ooアリールエステ ル)₁₋₁₀。、(C₈₋₁₀アルキルアリールエステル)₁₋ 100 、 (C₈₋₇₀ アリールアルキルエステル)₁₋₁₀₀ 、 - $R-CO-O-(C_{\bullet-\bullet}PJ-NI-FN)_{1-100}$, R-CO-O-(C₁₋₁₀アルキルアリールエーテル) 1-100 、-R-CO-O-(C;-60アリールアルキルエ ーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₄₋₅₀アルキルウレタン)₁₋₁₀₀ 、 (C14-60アリールウレタン),-100 、 (C10-20 アルキルアリールウレタン),-100 、 (C10-80 アリー ルアルキルウレタン) -- ..。、、(Cs.s。アルキルウレ ア)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₄₋₆₀ アリールウレア)₁₋₁₀₀ 、 (C 10-80 アルキルアリールウレア) 1-100 、 (C10-80 ア リールアルキルウレア) +-:00 、 (C:-50 アルキルアミ ド) 1-100 、 (C7-60 アリールアミド) 1-100 、 (C 8-70 アルキルアリールアミド),-100 、 (C8-70 アリー ルアルキルアミド)₁₋₁₀。、(C₁₋₁₀アルキル無水物) 1-100 、 (C₈₋₅₀アリール無水物)₁₋₁₀0 、 (C₉₋₅₀ア ルキルアリール無水物),-,,,、(C,-,,アリールアル キル無水物),,,,,、(C,,,,アルキルカーボネート) 1-100 、 (C₇₋₅₀アリールカーボネート) 1-100 、 (C 8-60 アルキルアリールカーボネート),-100 、 (C8-60 アリールアルキルカーボネート) . . . 。、 - R . . - O -CO-NH-(R, 若しくはAr-R,-Ar)-NH -CO-O-(C₁₋₁, アルキルエーテル、C₄₋₄, アリー ルエーテル、Cracoアルキルアリールエーテル若しくは C_{7-60} アリールアルキルエーテル) 1-100 、 $-R_1$ - O -CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-N $H-CO-O-(C_{2-50}$ アルキルエステル、 C_{7-60} アリ ールエステル、C₈₋₇₀アルキルアリールエステル若しく はC₈₋₇。アリールアルキルエステル),-10。 、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)- $NH-CO-O-(C_{1-3}, PN+NT-FN, C_{3-4}, P)$ リールエーテル、C₁₋₆アルキルアリールエーテル若し くはC₁₋₁₀アリールアルキルエーテル)₁₋₁₀0 - C O -NH- (R:若しくはAr-R: -Ar) -NH-CO -O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr -R: -Ar) -NH-CO-O- (C: 50アルキルエ ステル、C₁₋₁₀アリールエステル、C₁₋₁₀アルキルアリ ールエステル若しくはC。-,。アリールアルキルエステ ル)₁₋₁₀₀ - R₁ - O - CO - NH - (R₁ 若しくはA $r-R_1-A_1$ $-NH-CO-O-, -R_1-NH-$

CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH -CO-O-(C₁₋₃,アルキルエーテル、C₁₋₄,アリー ルエーテル、Cracoアルキルアリールエーテル若しくは $C_{1-\epsilon_0}C_{\epsilon-\epsilon_0}$ P_{1} P_{1} P_{1} P_{2} P_{3} P_{4} P_{5} P_{5} ルエーテル若しくはC₁₋₁₀アリールアルキルエーテル) 1-100、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはA $r-R_1-A_1$) $-NH-CO-O-(C_{1-50}PN+N)$ エステル、 C_{1-} は $Ar-R_{1-}Ar)-NH-CO-O$ - (C₁₋₅, アルキルエステル、C₇- アリールエステル、 C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。アリー ルアルキルエステル) ₁₋₁₀₀ 、 - R₁ - NH - CO - N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O- (C,.,,アルキルエーテル、C,-,,アリールエーテ ル、C₁₋₁₀アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₁₀ア リールアルキルエーテル),-,。 - CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-、-R , -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A r) -NH-CO-O-(C2-50アルキルエステ ル、C₁₋₆。アリールエステル、C₁₋₇。アルキルアリール エステル若しくはC_{*-7}。アリールアルキルエステル) 1-100 - R, -O-CO-NH-(R,若しくはAr-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -NH- (C₁₋₅₀アルキルアミド、C₁₋₆₀アリールアミ ド、C₈₋₇。アルキルアリールアミド若しくはC₈₋₇。アリ ールアルキルアミド) -- 100 又は-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -NH- (C,-soアルキルアミド、C,-soアリールアミ ド、C。-7。アルキルアリールアミド若しくはC。-7。アリ ールアルキルアミド)」-」。。であり、R、R、、R、、、 R, 及びR, のそれぞれは独立に C₁₋₁。アルキルであ り、そしてArは各々独立にアリールであり、そしてD は各々独立して-SH、-NHOH、-SO, H、-O SO, H, -CONH, -CO-NH-NH, -C $H(NH_1) - COOH_1 - P(OH)_1 - PO(O$ $H)_{1}$, $-O-PO(OH)_{1}$, $-O-PO(OH)_{2}$ $O-PO(OH)_{1}, -O-PO(O)-O-CH, C$ H, NH, '、ーグリコシド、一〇一〇H, 一 (CHO H), -CH, OH, -O-CH, -(CHOH), -CHOH, -C, H, (OH), -N, HR, R, Zは-N' HR。R、R。 (式中、R、R。、R。及びR 。は各々独立してC₁₋₁₀アルキルであり、Arは各々独 立してアリールである)であることを特徴とするもので ある。 上記式で表される本発明に包含される誘導体の 更に別の群は、Eが各々独立してE、又はE、であるこ とを特徴とするものである。X, は各々独立して- Y_1 , $-O-Y_1$, $-S-Y_1$, $-NH-Y_1$, -CO $-\,O\,-\,Y_{\,\scriptscriptstyle I}$, $-\,O\,-\,C\,O\,-\,Y_{\,\scriptscriptstyle I}$, $-\,C\,O\,-\,N\,H\,-\,Y_{\,\scriptscriptstyle I}$, $-CO-NY_1$ Y_1 , $-NH-CO-Y_1$, -SO2- Y_i , $-CHY_i$, Y_i , $ZUI-NY_i$, Y_i , $UI-NY_i$, $UI-NY_i$, $UI-NY_i$

B及びDの各々独立して前記と同じ定義を有するのが好ましい。

【0015】本発明の別の態様は、下記式: F(-E)。(OH)。

[式中、Fはフレレンコアであり、

(Y₁ , Y₁ , Y₁ - アルキル) アミノ、(Y₁ , Y₁ , Y₁ , Y₁ - アリール) アミノ又はジヒドロキシアルキルアミノであり、E, は各々独立して、Y₁ , Y₁ , Y₂ , -アルコキシ、(トリヒドロキシアルキル) アルキル アルコキシ、(トリヒドロキシアルキル) アルキルアミノ、(ジカルボキシアルキル) アミノ、(Y₁ , Y₁ , Y₂ , -アルキル) チオ、(X₁ , X₁ - アリール) チオ、(X₁ , X₂ - アリール) チオ、(X₁ , X₂ - アリール) チオ、(X₁ , X₂ - アリール) チオ、(Y₁ , Y₂ , Y₃ - Y₄ - Y₄ , Y₄ , Y₄ - Y₄

(Y₁, Y₁ - アルキル) チオ、(ジヒドロキシアルキル) チオ、

【0017】 Y_1 , Y_2 -ジオキソアルキルであり、<math>E. , は各々独立して ((グリコシジル) オキソヘテロアリ ール)アミノ、((グリコシジル)オキソアリール)ア $(X_1 - \Im P I - \mu F F)$ $P \in \mathcal{A}$ $(X_1 - \Im F)$ ソアリール) アミノ、(X, X, -ジオキソアリール) アミノ、(Y, -アルキル, Y, -アルキルジオキソへ テロアリール) アミノ、(Y, -アルキル, Y, -アル キルジオキソアリール) アミノ、(ジ(Y,, Y, -メ チル) ジオキソヘテロアリール) アミノ、(ジ(Y,, Y. -メチル) ジオキソアリール) アミノ、((グリコ シジル) ヘテロアリール) アミノ、((グリコシジル) アリール) アミノ、((カルボキシルアセチルアルキ ル)オキソヘテロアリール)アミノ、((カルボキシル アセチルアルキル) オキソアリール) アミノ、((イソ プロピルアミノヒドロキシアルコキシ) アリール) アミ ノ又は(X,, X,, X, -アルキルアリール)アミノ であり、そして

【0018】E、は各々独立して、(X₁, X₁, X₁ ーヘテロアリール)オキシ、(イソプロピルアミノヒドロキシアルキル)アリールオキシ、(X₁, X₁, X₁ ーオキソヘテロアリール)オキシ、(X₁, X₁, X₁ ーオキソアリール)オキシ、(X₁, Y₁ ーオキソヘテロアリール)オキシ、(X₁ ージアリールケトン)オキシ、(X₁ X₁ ーオキソアリール)オキシ、(X₁ X₁ アプオキソアリール)オキシ、(Y₁ X₁ ージーア 50 ミノジヒドロキシ)アルキル、(X₁ X₁ ーヘテロア

リール)チオ、((トリカルボキシルアルキル)エチレ ンジアミノ) アルコキシ、(X, , X, -オキソアリー ル) チオ、(X₁, X₂ -ジオキソアリール) チオ、 (グリコシジルヘテロアリール) チオ、 (グリコシジル アリール) チオ、Y₁ -アルキル (チオカルボニル) チ オ、Y, Y, -アルキル (チオカルボニル) チオ、Y ., Y., Y. - アルキル (チオカルボニル) チオ、 (Y₁, Y₁ -アミノチオカルボニル) チオ、 (ピラノ シル)チオ、システイニル、チロシニル、(フェニルア ライニル) アミノ、(ジカルボキシアルキル) チオ、 (アミノアリール) 1-10 アミノ又は (ピラノシル) アミ ノであり、

【0019】(ここで、Xは各々独立してハロゲン化物 であり、X, 及びX, は各々独立して-H、-Y, 、- $\mathsf{O} = \mathsf{Y}_\mathsf{i} \ , \ -\mathsf{S} = \mathsf{Y}_\mathsf{i} \ , \ -\mathsf{N}\,\mathsf{H} = \mathsf{Y}_\mathsf{i} \ , \ -\mathsf{C}\,\mathsf{O} = \mathsf{O} - \mathsf{Y}$ $_{1}$, $-O-CO-Y_{1}$, $-CO-NH-Y_{1}$, -CO- $NY_1 Y_2 - NH - CO - Y_1 - SO_2 - Y_1 - SO_2 - Y_1 - SO_2 - Y_1 - SO_2 - Y_2 - SO_2 - Y_1 - SO_2 - Y_2 - Y_2 - Y_2 - SO_2 - Y_2 -$ CHY, Y, 又は-NY, Y, であり、

【0020】X, は各々独立して、-Y, 、-O- Y_1 , $-S-Y_1$, $-NH-Y_1$, $-CO-O-Y_1$, $-O-CO-Y_1$, $-CO-NH-Y_1$, -CO-NY $_{1}$ Y_{2} , $-NH-CO-Y_{1}$, $-SO_{2}$ $-Y_{1}$, -CHY, Y, Yは-NY, Y, であり、そしてY, 、Y, 及 びY, は各々独立して-B-2である)

【0021】---式中、Bは各々独立して、-R。-O - [Si(CH;), -O-] | -100 、 C| -2000 アルキ ル、C₁₋₁₀アリール、C₁₋₁₀アルキルアリール、C₁₋₁₀ アリールアルキル、(C₁₋₁₀アルキルエーテ $(C_{6-10}, F_{1-100}, C_{6-10}, F_{1-100}, C_{1-100}, C_{1-100}$ 7-60 アルキルアリールエーテル),-100 、 (C7-60 アリ ールアルキルエーテル),-,。、(C,-,,アルキルチオ エーテル),-100 、 (C,-10 アリールチオエーテル) 1-100 、 (C₁₋₆₀アルキルアリールチオエーテル) 1-100 、 (C,-60 アリールアルキルチオエーテル) 1-100 、 (C₁₋₅₀アルキルエステル)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₆₀ アリールエステル),-,oo、(C,-,oアルキルアリール エステル) 1-100、 (C1-70アリールアルキルエステ $(R_{1-100}, R_{1}-R_{10})$ (R_{1-10}, R_{10}) (R_{1-10}, R_{10}) (R_{1-10}, R_{10}) (R_{1-10}, R_{10}) (R_{1-10}, R_{10}) (R_{1-10}, R_{10}) (R_{1-10}, R_{10}) ル),-,。。 、-R-CO-O-(C₆₋₁,アリールエーテ ル) $_{1-100}$ 、 $-R-CO-O-(C_{1-60}$ アルキルアリー ルエーテル),-100 、-R-CO-O-(C,-60アリー ルアルキルエーテル),-,o。、(C,-soアルキルウレタ ン)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₁₋₆₀ アリールウレタン)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₀₋₈₀ アルキルアリールウレタン)₁₋₁₀₀ 、 (C

10-80 アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-50ア ルキルウレア) -- 100 、 (C11-60 アリールウレア) 1-100 、 (C10-80 アルキルアリールウレア)1-100 、 $(C_{10-80} \ P \cup -NP \cup P \cup P)_{1-100} \ . \ (C_{2-80}$ アルキルアミド),-100 、 (C7-60アリールアミド) 1-100 、 (C₈₋₇₀アルキルアリールアミド)₁₋₁₀₀、

(C₁₋₇₀アリールアルキルアミド),-100 、 (C₁₋₁₀ア ルキル無水物)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₅₀アリール無水物) 1-100 、 (C,-10アルキルアリール無水物),-100、 (C₁₋₁₀アリールアルキル無水物)₁₋₁₀、 (C₁₋₁₀ア ルキルカーボネート),-,。、(C,-soアリールカーボ ネート),-,。、(C₈-6,アルキルアリールカーボネー ト)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₆0アリールアルキルカーボネート) ı-ıoo、-Ri -O-CO-NH-(R. 若しくはAr -R: -Ar) -NH-CO-O-(C::0アルキルエ ーテル、C₁₋₁₀アリールエーテル、C₇₋₁₀アルキルアリ・ ールエーテル若しくはC₁₋₆アリールアルキルエーテ ル),-,..、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-O-(C_{1-50}PN+$ ルエステル、C7-60アリールエステル、C8-70アルキル アリールエステル若しくはC。-、。アリールアルキルエス テル)₁₋₁₀₀、-R, -O-CO-NH-(R, 若しく はAr-R: -Ar) -NH-CO-O- (C::0アル キルエーテル、C。・・。アリールエーテル、C1-60アルキ ルアリールエーテル若しくはCrossアリールアルキルエ 20 ーテル)₁₋₁₀₀ - CO-NH-(R, 若しくはAr-R $_{1}$ -Ar) -NH-CO-O-, -R, -O-CO-N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C₁₋₅₀アルキルエステル、C₁₋₆₀アリールエステ ル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。ア リールアルキルエステル),-,00-R,-O-CO-N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr $-R_1 - A_1 - NH - CO - O - (C_{1-1}, T)$ ーテル、C₁₋₁。アリールエーテル、C₁₋₁。アルキルアリ ールエーテル若しくはC、、。アリールアルキルエーテ ル),-,,,、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しく はAr-R: -Ar) -NH-CO-O- (C:-50アル キルエステル、C,-,。アリールエステル、C,-,。アルキ ルアリールエステル若しくはC。、アリールアルキルエ ステル)」-」。。、-R, -NH-CO-NH-(R, 若 $U < U \land r - R_1 - A_1 - NH - CO - O - (C_{1-10})$ アルキルエーテル、C₆₋₄。アリールエーテル、C₇₋₆。ア ルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₆₀アリールアルキ ルエーテル)」。。-CO-NH-(R. 若しくはAr $-R_1 - A_1 - NH - CO - O - C_1 - NH - C$ O-NH-(R: 若しくはAr-R: -Ar)-NH- $CO-O-(C_{1-50}PN+NTAFN, C_{7-50}PJ-N$ エステル、C₁₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC 8-70 アリールアルキルエステル),-100 - R, -O-C O-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-、-R: -O-CO-NH-(R: 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-NH-(C_{1-10}P)$ ゙キルアミド、Cァー。。アリールアミド、C。-ァ。アルキルア リールアミド若しくはC_{*-7}。アリールアルキルアミド) 50 ,-, 、 又は-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくは

Ar-R, -Ar) -NH-CO-NH-(C₁₋₅, アルキルアミド、<math>C₇₋₆, アリールアミド、C₈₋₇, アリールアミド若しくはC₈₋₇, アリールアルキルアミド) であり、そして

【0022】Zは各々独立して-C-D-(式中、Cは 各々独立して-R-、-R-Ar-、-Ar-R-又は -Ar-であり、そしてDは各々独立して、-OH、-SH, -NH; , -NHOH, -SO; H, -OSO; H, -COOH, -CONH, . -CO-NH-N H_{i} , -CH $(NH_{i}$) -COOH, -P (OH) , , -PO (OH), , -O-PO (OH), , -O-PO (OH) -O-PO (OH), , -O-PO (O-) -O-CH, CH, NH, '、-グリコシド、-OC H_1 , $-O-CH_2$ - (CHOH), $-CH_2$ OH, - $O-CH_1$ - (CHOH), -CHOH, -C, H 」(OH),、-NH, '、-N' HR, R, 又は-N ' HR、R、R、である)である。——(但し、R、R ı、Rı、Rı、Rı、Rı、R。、R。及びR。は各々独立 して、C₁₋₁。アルキルであり、そしてArは各々独立し $(T_{1}, T_{2}, T_{2}, T_{3}, T_{3}$ は1~20である]

【0023】で表される表されるポリヒドロキシ有機フレレン誘導体に関する。上記式で表される本発明に包含される誘導体の一群は、Eが各々独立してE,、E,、E, 又はE, であることを特徴とするものである。

【0024】上記式で表される本発明に包含される誘導 体の他の群は、Eが各々独立してE,、E,又はE,で あることを特徴とする。X, は各々独立して-Y, 、- $O-Y_1$, $-S-Y_1$, $-NH-Y_1$, -CO-O-Y $_{1}$, $-O-CO-Y_{1}$, $-CO-NH-Y_{1}$, -CO- $NY_1 Y_2$, $-NH-CO-Y_1$, $-SO_2 -Y_1$, -CHY, Y, 又は-NY, Y, であり、Bは各々独立し $T-R_{\bullet}-O-[Si(CH_{\bullet}), -O-]_{-100}$, C ₅-₁₀アリール、C₁-₅₀アルキルアリール、C₁-₅₀アリー ルアルキル、 (C_{i-1}, γ_i) アリールエーテル) (C_{i-1}, γ_i) 、 (C_{i-1}, γ_i) 7-60 アルキルアリールエーテル)1-100 、 (C7-60 アリ ールアルキルエーテル) ...。、(C,.,,アルキルチオ エーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₁₀アリールチオエーテル) 1-100 、 (C₁₋₆₀アルキルアリールチオエーテル) 1-100 、 (C:-60 アリールアルキルチオエーテル) 1-100 、 (C₁-50アルキルエステル),-100 、 (C₁-50 アリールエステル),-10。、(C₈₋₇₀アルキルアリール エステル)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₇₀アリールアルキルエステ ル)₁₋₁₀₀ 、-R-CO-O-(C₁₋₁₀アルキルエーテ $(R_{1-100}, R_{1}-R_{10})$ 、 (R_{1-10}, R_{10}) 、 (R_{1-10}, R_{10}) 、 (R_{1-10}, R_{10}) で $(R_{1-10}, R_{1$ $(V)_{1-100}$ 、 $(V)_{1-100}$ 、 $(V)_{1-100}$ 、 $(V)_{1-100}$ 、 $(V)_{1-100}$ では、 $(V)_{1-100}$ ルエーテル),,,,,,、 $-R-CO-O-(C_{7-5}, アリー$ ルアルキルエーテル),-,。、(C,-s。アルキルウレタ ン) 1-100 、 (C11-10 アリールウレタン) 1-100 、 (C₁₀₋₈, アルキルアリールウレタン)₁₋₁₀, 、(C

10-80 アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-soア ルキルウレア)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₄₋₆₀ アリールウレア) 1-100 、 (C10-80 アルキルアリールウレア)1-100 、 (C₁₀₋₈₀ アリールアルキルウレア)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₅₀ アルキルアミド) $_{1-100}$ 、 (C_{7-10} アリールアミド) 1-100 、 (C₈₋₇₀アルキルアリールアミド)₁₋₁₀₀、 $(C_{8-70}PJ-NPN+NPSF)_{1-100}$, $(C_{5-50}P$ ルキル無水物)₁₋₁₀₀、(C₈₋₅₀アリール無水物) 1-100 、 (C₉₋₆₀アルキルアリール無水物)₁₋₁₀。、 (C, -, 0アリールアルキル無水物) - - 100 、 (C, - 10ア ルキルカーボネート) 1-100 、 (C1-50 アリールカーボ ネート)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₆₀アルキルアリールカーボネー ト)₁₋₁₀₀ 、 (C₈₋₆₀アリールアルキルカーボネート) 1-100、一R, 一O-CO-NH-(R, 若しくはAr $-R_1$ -Ar) $-NH-CO-O-(C_{1-1}, 7N+NT)$ ーテル、C。-・。アリールエーテル、C1-6。アルキルアリ ールエーテル若しくはC1-60アリールアルキルエーテ ル),-,00、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-O-(C_{1-50}PN+$ ルエステル、C₁₋₆。アリールエステル、C₈₋₇。アルキル アリールエステル若しくはC。- 7。アリールアルキルエス テル)₁₋₁₀。、-R₁ -O-CO-NH-(R₂若しく $dAr-R_1-Ar)-NH-CO-O-(C_{1-1}, r)$ キルエーテル、C。・・。アリールエーテル、C、・・。アルキ ルアリールエーテル若しくはC、。。アリールアルキルエ ーテル)₁₋₁₀₀ - CO-NH-(R. 若しくはAr-R $_{1}$ -Ar) -NH-CO-O- $_{1}$ -O-CO-N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C₁₋₅。アルキルエステル、C₁₋₆。アリールエステ ル、C_{*-7}。アルキルアリールエステル若しくはC_{*-7}。ア リールアルキルエステル) 1-100 - R, -O-CO-N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr ーテル、C₆₋₁₀アリールエーテル、C₇₋₆₀アルキルアリ ールエーテル若しくはC₁₋₆₀アリールアルキルエーテ ル),-,。、 - R, - NH-CO-NH-(R, 若しく $\forall Ar - R_i - Ar) - NH - CO - O - (C_{i-i}, T)$ キルエステル、C7-40アリールエステル、C8-70アルキ 40 ルアリールエステル若しくはC₈₋₇。アリールアルキルエ ステル)₁₋₁₀₀、-R₁-NH-CO-NH-(R₂ 若 $U < U < T - R_1 - A_1 - NH - CO - O - (C_{1-10})$ アルキルエーテル、C₁₋₁₀アリールエーテル、C₁₋₁₀ア ルキルアリールエーテル若しくはC...。アリールアルキ ルエーテル)」-」。。 - CO-NH-(R. 若しくはAr $-R_1 - Ar) - NH - CO - O - (-R_1 - NH - C)$ O-NH-(R、若しくはAr-R、-Ar)-NH- $CO-O-(C_{1-s_0}PN+NTAFN, C_{1-s_0}P)-N$ エステル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC 50 ₈₋₇₀アリールアルキルエステル),-100 - R, -O-C

O-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-NH-(C_{1-50}T)$ キルアミド、C,-,0アリールアミド、C,-,0アルキルア リールアミド若しくはC_{*-},_{*}アリールアルキルアミド) 1-100 又は-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくは $Ar-R_1-Ar)-NH-CO-NH-(C_{1-50}T)$ キルアミド、C1-60アリールアミド、C8-70アルキルア リールアミド若しくはC₈₋₇。アリールアルキルアミド) 1-100 であり、そしてDは各々独立して-SH、-NH OH, -SO, H, -OSO, H, -CONH, , -CO-NH-NH, , -CH (NH,) -COOH, -P $(OH)_{1}, -PO_{1}(OH)_{2}, -O-PO_{1}(OH)_{3}$ $H)_{1}$, $-O-PO(OH)_{1}-O-PO(OH)_{2}$, -O-PO (O-) -O-CH, CH, NH, '、ーグリ コシド、-O-CH: - (CHOH), -CH: OH、 -O-CH₁ - (CHOH) , -CHOH, -C₆ H₁ (OH), 、-N'HR, R, 又は-N'HR, R, R 。であり、R、R。、R。、R。、R。、R。、R。及びR。 は各々独立してC₁₋₁。アルキルであり、Arは各々独立 してアリールであることが好ましい。上記式で表される 本発明に包含される誘導体の別の群は、Eが各々独立し てE、又はE、であることを特徴とするものである。X , は各々独立して-Y, 、-O-Y, 、-S-Y, 、- $NH-Y_{1}$, $-CO-O-Y_{1}$, $-O-CO-Y_{1}$, - $CO-NH-Y_1$, $-CO-NY_1$ Y_1 , -NH-CO $-Y_1$, $-SO_1$, $-Y_1$, $-CHY_1$, Y_1 , $ZUI-NY_1$ Y、であり、そしてB及びDは各々独立して前記と同じ 定義を有するのが好ましい。

【0025】また、式F-(E)。で表されるポリ有機 30 フレレン誘導体の製造方法も本発明の範囲内である。 この方法は、可変性で(versatile) かつ反応性の中間体 として作用するポリニトロフレレン又はポリシクロ硫酸 化フレレン誘導体を得る工程と、上記中間体を求核性試 薬と接触させてポリ有機フレレン誘導体とする工程を含 んでいる。式F-(E)。に於いて、Fはフレレンコア であり、Eは各々独立してE,、E,、E,、E,、E s 又はE。であり(但し、E, s は各々前記と同様に定 義され、E。は各々独立してY、-アミノ、Y、-アル コキシ又は Y_i - チオであり、 X_i 、 X_i 及び X_i は各 々独立して、-H、-Y,、-O-Y,、-S-Y,、 $-NH-Y_{1}$, $-CO-O-Y_{1}$, $-O-CO-Y_{1}$, $-CO-NH-Y_1$, $-CO-NY_1$ Y_2 , -NH-C $O-Y_1$, $-SO_2$, $-Y_1$, $-CHY_1$, Y_2 , $ZU-NY_2$ Y, であり、Y, 、Y, 及びY, は各々独立して-H 又は-B-Zであり、Bは各々独立して-R。-O-[Si(CH;), -O-],-,00、C,-,000アルキ ル、C₆₋₄。アリール、C₇₋₆。アルキルアリール、C₇₋₆。 アリールアルキル、(C₁₋₁,アルキルエーテ

7-10 アルキルアリールエーテル),-100 、 (C,-10 アリ ールアルキルエーテル)₁₋₁₀₀、(C₁₋₃₀アルキルチオ エーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₆₋₄₀アリールチオエーテル) 1-100 、 (C, 10 アルキルアリールチオエーテル), 1-10 。、(C₇₋₆₀アリールアルキルチオエーテル)」-100、 エステル),-100 、 (C₁₋₇₀アルキルアリールエステ ル):-: oo 、 (C₈₋₇₀アリールアルキルエステル) 1-100 、 - R - CO - O - (C₁₋₁₀アルキルエーテル) $1-100 \times -R-CO-O-(C_{6-10}PU-NT-FN)$ 1-100 、-R-CO-O-(C1-60アルキルアリールエ ーテル)₁₋₁₀、、-R-CO-O-(C₁₋₁₀アリールア ルキルエーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₄₋₅₀アルキルウレタン) 1-100 、 (C₁₁₋₆0 アリールウレタン)₁₋₁₀0 、 (C 10-10 アルキルアリールウレタン) 1-100 、 (C10-10 アリールアルキルウレタン) 1-100 、 (Cs-50 アルキル ウレア) 1-100 、 (C11-10 アリールウレア) 1-100 、 (C₁₀₋₈, アルキルアリールウレア)₁₋₁₀, 、(C 10-10 アリールアルキルウレア) 1-100 、 (C1-50 アル キルアミド),-100 、 (C7-50 アリールアミ ド)₁₋₁₀。、(C₈₋₇。アルキルアリールアミ ド)₁₋₁₀₀、(C₈₋₁₀アリールアルキルアミ ド)₁₋₁₀₀ 、 (C₁₋₁₀アルキル無水物)₁₋₁₀₀ 、 (C 8-50アリール無水物),-100 、 (C,-60アルキルアリー ル無水物) $_{1-100}$ 、(C $_{1-10}$ アリールアルキル無水物) 1-100 、 (C₂₋₁₀アルキルカーボネート)₁₋₁₀。、 (C 7-50アリールカーボネート)₁₋₁₀0、(C₈₋₆₀アルキル アリールカーボネート),-,o,、(C₈₋₄₀アリールアル キルカーボネート),.,。、 - R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-(C1-10アルキルエーテル、C4-10アリールエーテル、 C₁₋₆。アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₆。アリー ルアルキルエーテル) $_{1-100}$ 、 $-R_1$ -O-CO-NH- (R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O - (C₁₋₅₀アルキルエステル、C₁₋₆₀アリールエステ ル、C₈₋₇。アルキルアリールエステル若しくはC₈₋₇。ア リールアルキルエステル) -- 100、 - R1 - O - CO -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -O-(C₁₋₃。アルキルエーテル、C₆₋₄。アリールエー テル、C₁₋₆。アルキルアリールエーテル若しくはC₁₋₆。 アリールアルキルエーテル) .-..。 - CO-NH-(R , 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O-、-R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A r) - NH - CO - O - (C₁₋₅₀ アルキルエステル、C 7-60 アリールエステル、C8-70 アルキルアリールエステ ル若しくはC_{*-7}。アリールアルキルエステル),,,,。 -R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-R, -A r) -NH-CO-O-, -R, -NH-CO-NH-(R:若しくはAr-R:-Ar)-NH-CO-O- $(C_{1-100}, C_{1-10}, C$

C,、。アルキルアリールエーテル若しくはC,、。アリー ルアルキルエーテル),-, oo、 - R: - NH - CO - N H-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO- $O-(C_{1-50}PN+NTAFN, C_{7-60}PJ-NTAF$ ル、C₁₋₁。アルキルアリールエステル若しくはC₁₋₁。ア リールアルキルエステル) .-. 。、 - R 、 - NH - CO -NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-C O-O-(C:-:0アルキルエーテル、C6-10アリールエ ーテル、C₁₋₁。アルキルアリールエーテル若しくはC ₇₋₆₀ アリールアルキルエーテル)₁₋₁₀₀ - CO-NH- 10 l)、シクロプロピル、シクロペンチル、シクロヘキシ (R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO-O -、-R, -NH-CO-NH-(R, 若しくはAr-R: -Ar) -NH-CO-O- (C:-so アルキルエス テル、C₁₋₁₀アリールエステル、C₁₋₁₀アルキルアリー ルエステル若しくはC₈₋₇₀アリールアルキルエステル) 1-100 - R, -O-CO-NH-(R, 若しくはAr-NH-(R, 若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO $-NH-(C_{1-50}PN+NP)$ ド、C₈₋₇。アルキルアリールアミド若しくはC₈₋₇。アリ ールアルキルアミド),-,,。又は-R, -NH-CO-NH-(R,若しくはAr-R, -Ar)-NH-CO -NH-(C₁₋₅₀アルキルアミド、C₁₋₆₀アリールアミ ド、C₈₋₇。アルキルアリールアミド若しくはC₈₋₇。アリ ールアルキルアミド) 1-100 であり、 Z は各々独立して -C-D-(式中、Cは各々独立して-R-、-R-A rー、ーAr-R-又は-Ar-であり、そしてDは各 々独立して-OH、-SH、-NH:、-NHOH、-SO, H. -OSO, H. -COOH. -CONH: , $-CO-NH-NH_1$, $-CH(NH_1)$ -COOH, $-P(OH)_{1}, -PO(OH)_{2}, -O-PO(O$ $H)_{1}$, $-O-PO(OH)_{1}-O-PO(OH)_{2}$, -O-PO (O-) -O-CH, CH, NH, , - / J コシド、-OCH: 、-O-CH: - (CHOH), - $CH_{1}OH_{2}-O-CH_{2}-(CHOH)_{1}-CHO$ H, -C, H, (OH), -NH, -N, HRR、又は-N' HR、R、R、である)であり、R、R, 、R₁、R₁、R₂、R₂、R₂、R₂及びR₂は各々独立 してC,-,。アルキルであり、Arは各々独立してアリー ルであり、そしてnは $1 \sim 30$ であり、そしてmは $1 \sim 40$ 20である。

【0026】上記の方法は、更に、このようにして得ら れたポリ有機フレレン誘導体を加水分解することによっ て、ポリヒドロキシ有機フレレン誘導体を製造すること まで延長することができる。

【0027】用語「アルキル」とは、1~30個の炭素 原子を含有する直鎖又は3~30個の炭素原子を含有す る分枝炭化水素鎖又は3~30個の炭素原子を含有する 環式炭化水素基等を意味する。これらのアルキル基は、

でき、そして環式アルキル基は、1個又は2個以上の、 ヘテロ原子、代表的には窒素、酸素若しくは硫黄を含む ことができる。アルキル基として例えば、メチル、エチ ル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、t ertーブチル、アミル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチ ル、オクチル、ノニル、デシル、ペンタデシル、イコシ ル、アリル、2-プテニル、2-ペンテニル、3-ヘキ セニル、4-デセニル、5-ノナデセニル、2-ブチニ ル、3ーオクチニル、5ーオクタデシニル(5-octadecny ル、シクロヘプチル、アダマンチル、ノルボルニル、イ ソポルニル、シクロペンチルメチル、シクロヘキシルメ チル、1-又は2-シクロヘキシルエチル、シクロペン テニル、シクロヘキセニル、シクロヘプテニル、シクロ オクテニル、テトラヒドロフラニル、テトラヒドロピラ ニル、ピペリジニル、モルホリノ及びピロリジニル基を 挙げることができるが、これらに限定されるものではな

【0028】本明細書で使用される用語「アリール」 20 は、C...。芳香族環を指すものである。これらの分子成 分は、縮合環であってもよく、また下記に定義されるよ うにアリール又はヘテロアリールと縮合していてもよ い。縮合環は、共通の炭素-炭素結合を共有する環であ る。代表的には、アリール基としてフェニル、ナフチ ル、ピフェニル、インダゾリル、フェナントリル及びア ントラシルが挙げられる。本明細書における用語「ヘテ ロアリール」は、上記の定義のような1個又は2個以上 のヘテロ原子を含有するC、・・・・芳香族環を意味する。こ れらの分子成分は縮合環であってもよい。ヘテロアリー 30 ル基の例として、ピリジル、ピラジニル、ピリミジル、 フリル、ピロリル、チエニル、チアゾリル、オキサゾリ ル、イミダゾリル、クマリニル、インドリル、ベンゾフ ラニル、ベンズチアゾリル、ベンゾチエニル及びベンゾ チアジアゾリルが挙げられる。

【0029】本明細書で使用される用語「ハロゲン化 物」は、フルオロ、クロロ、ブロモ又はヨードとして定 義される。本明細書において用語「ポリニトロフレレ ン」及び「ポリシクロ硫酸化フレレン」は、それぞれ 式、F-(NO,)。及びF-(SO,)。(式中、n は少なくとも2である)を有するものである。用語「求 核性試薬」は、反応で電子を供与する電子富化種として 定義される。ポリ有機フレレン誘導体の製造において使 用することができる求核性試薬の例として、アミン、フ ェノール、アルコキシド、有機チオラート、カルボアニ オン、有機アミドアニオン、チオール、アミノ酸及びチ オールカルバメートアニオンが挙げられる。上記求核性 試薬は、置換されていなくともよく又は他の官能基で置 換されていてよいことを記載しておく。置換求核性試薬 の例として、1, 4-ナフトキノニルアミン、チロシ 1個又は2個以上の二重結合又は三重結合を含むことが 50 ン、ジヒドロキシプロピルチオール等々が挙げられる。

. 35

例えば、ポリニトロフレレンは、求核性試薬であるジヒ ドロキシプロピルチオールと反応して、対応するポリ有 機フレレン誘導体であるポリ(ジヒドロキシプロピルメ ルカプト)フレレンを生成することができる。下記の実 施例19を参照のこと。用語「加水分解」とは、塩基性 又は酸性条件下で、水分子が化合物の感受性の結合を攻 撃し、そして切断することを意味する。塩基は、ポリヒ ドロキシ有機フレレン誘導体の製造のために本発明に於 いて加水分解剤として一般的に使用されるものであり、 本明細書においては水酸化ナトリウムが好ましい加水分 10 解剤である。

【0030】上記分子成分の多くの構造を、以下、各々 分子成分に続いて括弧内に示す。すなわち、アルキルエ ーテル(-R-O-)、アリールエーテル(-Ar-O -)、アルキルアリールエーテル(-R-Ar-O -)、アリールアルキルエーテル(-Ar-R-O -)、アルキルチオエーテル(-R-S-)、アリール チオエーテル (-Ar-S-)、アルキルアリールチオ エーテル (-R-Ar-S-)、アリールアルキルチオ エーテル (-Ar-R-S-)、アルキルエステル (-20)R-O-CO-, -R-CO-O-, $-R_1-CO-O -R_1$ $-O-CO-又は<math>-R_1$ $-O-CO-R_1$ -CO-O-)、アリールエステル(-Ar-O-CO-、-Ar-CO-O-, $-Ar_1-CO-O-Ar_1-O CO-Zd-Ar_1-O-CO-Ar_2-CO-O$ 一)、アルキルアリールエステル(-R-Ar-O-C 〇-又は-R-Ar-CO-O-)、アリールアルキル エステル(一Ar-R-〇-C〇-又は一Ar-R-C H-R, -NH-CO-O-)、アリールウレタン (- 30 種々のポリ有機フレレン誘導体の製造用の中間体として $Ar_1 - O - CO - NH - Ar_2 - NH - CO - O$ -)、アルキルアリールウレタン (-R, -Ar-O- $CO-NH-R_1$ -NH-CO-O-, $-R-Ar_1$ -O-CO-NH-Ar, -NH-CO-O-又は-R, $-O-CO-NH-Ar-R_1-Ar-NH-CO-O$ -)、アリールアルキルウレタン(-Ar-R, -O- $CO-NH-R_1$ -NH-CO-O-, $-Ar_1-R-$ O-CO-NH-Ar₁-NH-CO-O-又は-Ar $_{1}$ -O-CO-NH-Ar, -R-Ar, -NH-CO-O-)、アルキルウレア(-R₁-NH-CO-NH 40 $-R_1 - NH - CO - NH -)$ 、 PJ - ND + P - A $r_1 - NH - CO - NH - Ar_2 - NH - CO - NH$ -)、アルキルアリールウレア(-R, -Ar-NH- $CO-NH-R_1$ -NH-CO-NH- $-R-Ar_1$ -NH-CO-NH-Ar, -NH-CO-NH-又は $-R_1$ $-NH-CO-NH-Ar-R_2$ -Ar-NH-CO-NH-)、アリールアルキルウレア(-Ar-R -NH-CO-NH-R, -NH-CO-NH-, - $Ar_1 - R - NH - CO - NH - Ar_1 - NH - CO -$ NH-Xd-Ar, -NH-CO-NH-Ar, -R-50

-NH-CO-, -R-CO-NH-, $-R_1$ -CO-NH-R, -NH-CO-又は-R, -NH-CO-R , -CO-NH-)、アリールアミド (-Ar-NH-CO-, -Ar-CO-NH-, $-Ar_1-CO-NH$ -Ar, -NH-CO-又は-Ar, -NH-CO-A $r_1 - CO - NH -)$ 、 $P \mathcal{N} + \mathcal{N} P \mathcal{N} - \mathcal{N} P \mathcal{N} + \mathcal{N} + \mathcal{N} P \mathcal{N} + \mathcal{N} + \mathcal{N} P \mathcal{N} + \mathcal{N}$ -Ar-NH-CO-, -R-CO-NH-Ar-NH-CO-又は-R-NH-CO-Ar-CO-NH -)、アリールアルキルアミド(-Ar-R-NH-C O-, -Ar-CO-NH-R-NH-CO-ZU-Ar-NH-CO-R-CO-NH-)、アルキル無水物 (-R-CO-O-CO-)、アリール無水物 (-Ar -CO-O-CO-)、アルキルアリール無水物(-R -Ar-CO-O-CO-又は-R-CO-O-CO-Ar-CO-O-CO-)、アリールアルキル無水物 (-Ar-R-CO-O-CO-又は-Ar-CO-O-CO-R-CO-O-CO-)、アルキルカーボネー ト (-R-O-CO-O-)、アリールカーボネート (-Ar-O-CO-O-)、アルキルアリールカーボ ネート (-R-Ar-O-CO-O-又は-R-O-C 〇-〇-Ar-〇-CO-〇-) 及びアリールアルキル カーボネート(-Ar-R-O-CO-O-又は-Ar -O-CO-O-R-O-CO-O-)を列挙する。A rへのジ置換の位置は、パラ、メタ又はオルト位のいず れもあってよいことを記載しておく。

【0031】本明細書に記載されたポリニトロフレレ ン、F-(NO,)。又はポリシクロ硫酸化フレレン、 F-(SO,)。を、(下記実施例に示されるように) 使用することができる。これらの中間体を使用すること によって、穏和な条件下で速い速度で反応を進行させる ことが可能になる。ポリニトロフレレン又はポリシクロ 硫酸化フレレンから合成されたこれらのフレレン誘導体 は、次いで、フレレングラフト化ポリマーを製造するた めに使用することができる。米国特許第5,635,5 81号を参照のこと。ポリマーの出発物質として作用す ることに加えて、これらの誘導体は、有用なフリーラジ カルスカベンジャーであることも示されている。米国特 許第5,648,523号を参照のこと。本発明の他の 特徴及び利点は、好ましい態様の下記の記載及び特許請 求の範囲から明らかになるであろう。

[0032]

【発明の実施の形態】本明細書に記載したポリニトロフ レレン又はポリシクロ硫酸化フレレンからのポリ有機フ レレン誘導体の幾つかを合成するための種々の方法を以 下に記載する。本発明に於いて反応性中間体として作用 するポリニトロフレレン誘導体F-(NO.)。は、下 記の方法のうちの一つによって製造することができる。 【0033】a) F-(NO,)。を製造するための方

法には、フレレン、Fを、亜硝酸ナトリウム、NaNO , 及び濃HNO, から発生する二酸化窒素ラジカル、N O.・と反応させることが含まれている。Chiang等、Tet rahedron 、1996年、52(14)、4963頁を参照のこと。F - (NO,)。の構造は、少なくとも4個のニトロ基を 含有することを特徴としている。

【0034】b) nが4であるF-(NO,)。はま た、フレレンを二硫化炭素溶液中で四酸化二窒素、N O. と反応させることから製造することができる。Cata ldo 等、Fullerene Sci. & Techno.、1997年、5(1)、25 10 7 頁を参照のこと。

【0035】c) F-(NO2) nの更に他の製造方法 は、フレレンを、H, SO、水溶液中でNaNO, とF e SO、との混合物から発生する二酸化窒素ガスと反応 させることによって行うことができる。Sarkar等、J. C hem. Soc., Chem. Commum.、1994年、275 を参照のこ と。

【0036】d) F-(NO,)。の更に他の製造方法 は、フレレンを発煙硝酸と反応させることによって行う ことができる。Hamwi 等、Fullerene Sci. & Techno.、 1996年、4(5)、835 頁を参照のこと。 本発明で有効な 中間体として使用することができるポリシクロ硫酸化フ レレン誘導体、F-(SO,)。は、酸化剤(例えば、 P, O, V, O, 又はSeO,)の存在下で、フレレ ンを生発煙硫酸と反応させることによって製造すること ができる。生成物の構造は、少なくとも4個のシクロ硫 酸化単位からなることを特徴としている。

【0037】ポリ有機フレレン誘導体、F-(E) 。は、一般的に、F-(NO;)。又はF-(SO,) 。を、求核性試薬、E-H(例えば、第一級及び第二級 30 有機アミノ化合物、アルコキシド、有機チオラート、有 機フェノール化合物、カルボアニオン、有機アミドアニ オン、チオカルバメートイオン等々)と、テトラヒドロ フランのような非反応性溶媒中で反応させることによっ て合成することができる。置換反応を受けるために十分 な強度のものであるE-Hの求核性アニオンを製造する ために、反応によっては塩基が必要となることがあり得 る(下記の実施例を参照)。このような塩基の若干の例 として、1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]-ウン デクー7-エン(DBU)、1.5-ジアザビアシク [4.3.0] ノン-5-エン(DBU) 及びリチウム ジイソプロピルアミン(LDA)が挙げられる。

[0038] st. F-(E) at. $F-(NO_1)$ a 又はF-(SO,)。を、E-Hをトリエチルホウ水素 化リチウム (スーパーーハイドライド(Super-Hydride) (登録商標)) と、テトラヒドロフラン又はその他の非 反応性溶媒中で反応させることによって発生するE-H のリチウム塩と反応させることによって製造することが できる。E-Hのリチウム塩の例として、リチウム有機

フェノールが挙げられるが、これらに限定されるもので はない。

【0039】上記の反応からのポリ有機フレレン誘導 体、F-(E)。を更に加水分解剤と反応させて、ポリ ヒドロキシ有機フレレン誘導体、F-(E)。(OH) 。を生じさせることができる。例えば、水酸化ナトリウ ムは、本明細書に於いて有効な加水分解剤であり、水酸 化テトラブチルアンモニウムをここで相間移動剤として 使用することができる。各用語で使用した記号nは、本 明細書で他の用語に使用した同じ記号と同じ数を有する 必要はない。

[0040]

【実施例】更に苦労することなく、当業者は、本明細書 の記載に基づいて、本発明をその最大の範囲まで利用で きると信じられる。従って、下記の特別の実施例は、単 に例示を構成するものであり、如何なる方法に於いても 開示の残りを限定するものではない。特許を含む本明細 書に引用した全ての刊行物を、その全部を参照すること によって本明細書に含める。

【0041】<実施例1>

ポリニトロフレレン、Cio(NO)。の製造 二つ口反応フラスコA (50mL)に、一方の口に止め コックを有する垂直滴下漏斗を取り付け、他方の口に連 結ガスバブリングチューブを取り付けた。ガスバブリン グチューブに乾燥チューブ(CaCl,)を取り付け、 第二の二つ口反応フラスコBの中に挿入した。フラスコ Bの他の口には、水酸化ナトリウム水溶液 (2N) を含 有するトラッピングフラスコの中に伸ばしたバブリング チュープを取り付けた。アルカリ性溶液からの水分の逆 流を最少化するために、乾燥チューブ (СаС1,) を、フラスコBとトラッピングフラスコとの間に取り付 けた。安定した不活性ガス(N,)流を、滴下漏斗の頂 部から出発して、反応フラスコA及びBを順次通過させ て、トラッピングフラスコ中のアルカリ性溶液中に流し た。滴下漏斗及び反応フラスコAに、それぞれ濃HNO 』(10mL)及び銅粉末(10g)を入れた。反応フ ラスコBの中に、ベンゼン(50mL、Naにより乾燥 した)中の[60]フレレン(500mg)の溶液を入 れた。フラスコB中のC60溶液を通る不活性ガスバブ リングを、1分間当たり5mLの流速に調節した。この フレレン溶液を、反応の前に少なくとも5分間脱酸素し た。次いで、濃HNO,溶液を、フラスコA中の亜硝酸 ナトリウム固体の中に滴下した。濃HNO、とNaNO 1 とが接触すると直ちに、褐色の煙霧が生じた。これは N, の安定した流れによって運ばれ、フラスコBの中の C. 溶液を通してバブリングされた。15分間の反応の 間で、紫色のC60の溶液は次第に橙赤色に変化した。 この混合物を周囲温度で更に2時間攪拌して、懸濁した 固体を含有する暗赤褐色溶液を得た。反応終了時、N アミノ化合物、リチウム有機チオラート、リチウム有機 50 パプリングによって、過剰の二酸化窒素 (NO:) を除

去し、トラッピング溶液中で分解させた。次いで、減圧で生成物溶液からベンゼンを蒸発させて、暗褐色固体を得た。この固体を無水n-へキサン中に懸濁させ、遠心分離技術によってn-へキサン溶液から分離し、真空下40℃で乾燥して、ポリニトロフレレン誘導体、C。(NO,)。(n=平均で4~6)の褐色固体(650 mg)を得た。IR ν max(KBr)1572[s, ν as(N-O)],1328[s, ν s(N-O)],1085,1038,973,815(δ),760,733,696,545及び466cm1。この生成物は、THF、DMF、CH,CI, CH,O H及びDMSOのような普通の有機溶媒中で、かなりの溶解度を示す。

【0042】<実施例2>

ポリシクロ硫酸化フレレン、C。。(SO.)。の合成 Cso (80%) 及びCro (20%) のフレレン混合物 (1.0g)、酸化剤及び発煙硫酸(15mL)を入れ た反応フラスコ (50mL) を、55~60℃でN。下 で5分~3時間攪拌して、橙色懸濁物を含有する明褐色 溶液を得た。この酸化剤は、P,O,(6.0g)、V 20 , O; (150mg) 又はSeO; (700mg) から 選択することができる。得られた混合物を冷たい氷水 (200mL)の中に滴下して、生成物を沈殿させた。 この沈殿物を遠心分離技術によって水溶液から分離し た。次いで、これを冷たい氷水で2回、洗浄し、遠心分 離し、真空下40℃で乾燥して、ポリシクロ硫酸化フレ レン、C。(SO,) 。の褐橙色固体(1.4g)を得 た。C.。(SO.)。の物理的性質は、下記の通りであ 3. IRvmax (KBr) 2920 (br), 240 0 (br), 1706 (w), 1654 (w), 159 8 (w), 1427 (s), 1229 (s), 116 8, 1046, 1002 (s), 981, 953 (s), 855, 826 (s), 783, 641, 53 0,485 (w) 及び411 (w) c m⁻¹; ''3 C NM R (DMF-d7, ピーク中心) δ 148.0,7 7. 0, 71. 0; HNMR (DMF-d7, ピーク 中心) δ 14.6 (w, 部分加水分解生成物のOSO $_{i}$ -OH).

【0043】<実施例3>

ポリアミノフレレン、C.。(NH.)。の合成---方 40 法1

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L)に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これに、C6。(NO。)。(500mg)及びテトラヒドロフラン(40mL)を入れた。この溶液を、冷トラップにドライアイス/アセトンを充填して、NH、ガスの流れ(5mL/分)で、周囲温度で2時間ゆっくりバブリングした。反応終了時、得られた溶液にメタノール(60mL)を添加して、褐色固体を沈殿させた。この固体沈殿物を遠心分離技術によって単離した。次いで、

これをメタノール(各回 $20\,\text{mL}$)で 20 回洗浄し、真空下 $40\,\text{℃で乾燥して、対応するポリアミノフレレン誘導体、<math>C_{\text{Lo}}$ (NH、)。($m \ge n$)の褐色固体を得た。置換基の数の増加は、ポリアミノ化フレレンにNH、が更に求核性付加したためである。ポリアミノフレレンの物理的データは、下記の通りである。 $I\,R\,\nu\,m\,a\,x\,$ (KBr)3400(s,NH2),3246(s),1625,1556,1387,1347,1271,1058,742及び545cm 。

0 【0044】<実施例4>

ポリアミノフレレン、C。(NH、)。の合成---方 法2

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C。(NO,)。(500mg)及びテトラヒドロ フラン (30mL) を入れた。この溶液にNaNH 1 (400mg)を添加し、周囲温度で3時間攪拌し た。反応終了時、得られた溶液にメタノール(60m L) を添加して、褐色固体を沈殿させた。この固体沈殿 物を遠心分離技術によって単離した。次いで、これをメ タノール(各回20mL)で2回洗浄し、真空下40℃ で乾燥して、対応するポリアミノフレレン誘導体、C。。 (NH₁) m (m≥n) の褐色固体を得た。置換基の数 の増加は、ポリアミノ化フレレンにNH、が更に求核性 付加したためである。ポリアミノフレレンの物理的デー 夕は、下記の通りである。IRvmax (KBr) 33 88 (s, NH2), 3269 (s), 1637, 15 57, 1381, 1346, 1271, 1060, 669及び538cm⁻¹。

【0045】<実施例5>

ポリアミノフレレンの合成---方法3

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコA(100m L)に、隔膜を取り付け、N,でパージした。これに、 C₆。(NO₁)。(500mg)及びテトラヒドロフラ ン(30mL)を入れた。別の反応フラスコB内で、ベ ンズアミド (ハロゲン化フレレンのハロゲン基の1.1 当量)を、テトラヒドロフラン(20mL、Na上で蒸 留した)中の水素化ナトリウム (ベンズアミドの1.1 当量)と周囲温度で反応させて、直ちにベンズアミドナ トリウム(C, H, CONHNa)の対応する溶液を得 た。この溶液を、0℃で反応フラスコAの中に滴下し、 混合物をこの温度で更に3時間攪拌した。反応終了時、 全ての溶媒を真空下得られた溶液から除去して、褐色固 体を得た。この固体をNaOHの水溶液(15mL、3 N)の中に移し、混合物を90℃で16時間攪拌し、加 熱した。これを周囲温度まで冷却し、メタノール(60 mL) を添加して、暗褐色固体を沈殿させた。この固体 沈殿物を遠心分離技術によって単離した。次いで、これ をメタノール(各回20mL)で2回洗浄し、真空下4 50 0℃で乾燥して、対応するポリアミノフレレン誘導体、

C.。(NH,)。の褐色固体を得た。

【0046】<実施例6>

ポリアミノフレレン、C.。(NH:) 。の合成---方 法4

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C, (SO,)。(500mg)及びテトラヒドロ フラン(40mL)を入れた。この溶液を、冷トラップ にドライアイス/アセトンを充填して、NH, ガスの流 れ(5mL/分)で、周囲温度で2時間ゆっくりバブリ 10 ングした。反応終了時、得られた溶液にメタノール(6 0mL)を添加して、褐色固体を沈殿させた。この固体 沈殿物を遠心分離技術によって単離した。次いで、これ をメタノール(各回20mL)で2回洗浄し、真空下4 0℃で乾燥して、対応するポリアミノフレレン誘導体、 C_•。(NH_•) (m≥n) の褐色固体を得た。ポリア ミノフレレンの物理的データは、下記の通りである。 I Rvmax (KBr) 3400 (s, NH2), 324 6 (s), 1625, 1556, 1387, 1347, 1271, 1058, 742及び545cm⁻¹。

【0047】<実施例7>

ポリ (ジエタノールアミノ) フレレン、C。 [-N (C H, CH, OH),] の合成 磁気攪拌機を取り付け た丸底反応フラスコ(100mL)に、隔膜及び冷トラ ップ凝縮器を取り付けた。これに、C.o(NO,) 。 (500mg) 及びアセトン (30mL) を入れた。 この溶液に、アセトン(30mL)中のジエタノールア ミン(蒸留した、900mg)を添加し、周囲温度で1 2時間攪拌した。反応終了時、溶液中の懸濁固体を遠心 分離技術によって分離し、アセトン及びテトラヒドロフ ランで洗浄を繰り返した。得られた褐色固体を、真空下 40℃で乾燥して、対応するポリ(ジエタノールアミ ノ) フレレン(535mg)を得た。ポリ(ジエタノー ルアミノ)フレレンの物理的データは、下記の通りであ る。IRvmax (KBr) 3374 (s, OH), 2 933 (C-H), 1650, 1565, 1453, 1 387, 1268, 1070, 669及び538 c m^{-1} . H NMR (300MHz, DMSO-d6) δ 3.0 (三重項, CH₂), 3.32 (OH), 3.63 (三重項, CH,) 及び4.56。

【0048】<実施例8>

ポリ(ジエタノールアミノ)フレレン、 $C_{\epsilon,\epsilon}$ [-N (C H, CH, OH),]。の合成

って分離し、アセトンで洗浄を繰り返した。得られた褐色固体を、真空下40℃で乾燥して、対応するポリ(ジエタノールアミノ)フレレン(520mg)を得た。ポリ(ジエタノールアミノ)フレレンの物理的データは、下記の通りである。 $IRvmax(KBr)3374(s,OH),2933(C-H),1650,1565,1453,1387,1268,1070,669及び538cm'。'HNMR(300MHz,DMSO-d6) <math>\delta$ 3.0(三重項、CH1),3.32(OH),3.63(三重項、CH1)及び4.56。【0049】<実施例9> ポリ(ヒドロキシエトキシエチルアミノ)フレレン、C1.6(-NHCH,CH,OCH,OH)。の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C.o(NO₁)。(500mg)及びテトラヒドロ フラン (30mL) を入れた。この溶液に、テトラヒド ロフラン (30mL) 中のトリス (ヒドロキシメチル) メチルアミン(900mg)を添加し、周囲温度で16 20 時間攪拌した。反応終了時、溶液中の懸濁固体を遠心分 離技術によって分離し、テトラヒドロフラン及びアセト ン洗浄を繰り返した。得られた褐色固体を、真空下40 ℃で乾燥して、対応するポリ(ヒドロキシエトキシエチ ルアミノ)フレレン(490mg)を得た。ポリ(ヒド ロキシエトキシエチルアミノ)フレレンの物理的データ は、下記の通りである。IRvmax (KBr) 338 1 (s, OH), 2933 (C-H), 2868 (C-H), 1644, 1565, 1453, 1354, 12 42, 1117 (s), 1065 (s) 及び531cm -'. ' H NMR (300MHz, DMSO-d6) δ 2. 9 (m, CH₁), 3. 32 (OH) 及び3. 6 2 (m, CH₁).

【0050】<実施例10>

ポリ[トリス(ヒドロキシメチル)メチルアミノ]フレ レン、C., [-NHC-(CH, OH),]。の合成 磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ (100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C。(NO:)。(500mg)及びテトラヒドロ フラン(30mL)を入れた。この溶液に、テトラヒド 40 ロフラン (30mL) 中のトリス (ヒドロキシメチル) メチルアミン(900mg)を添加し、周囲温度で24 時間攪拌した。反応終了時、溶液中の懸濁固体を遠心分 離技術によって分離し、テトラヒドロフラン及びアセト ンで洗浄を繰り返した。得られた褐色固体を、真空下4 0℃で乾燥して、対応するポリ [トリス (ヒドロキシメ チル)メチルアミノ]フレレン(570mg)を得、こ れはジメチルホルムアミドに可溶性である。ポリ [トリ ス(ヒドロキシメチル)メチルアミノ]フレレンの物理 的データは、下記の通りである。IRvmax (KB

70 (C-H), 1640, 1565, 1454, 13 54, 1067 (s) 及び582 cm⁻¹。' H NMR (200MHz, DMSO-d6) δ 2.91 (CH , O) 及び3.75 (OH)。

【0051】<実施例11>

ポリ(ジスクシニルオキシエチルアミノ)フレレン、C [-N (CH, CH, OCOCH, CH, CO, H) ,]。の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m に、無水コハク酸(250mg)、p-トルエンスルホ ン酸 (5 mg) 及びベンゼン (2 5 mL) を入れた。こ の混合物に、ポリ(ジエタノールアミノ)フレレン、C [-N (CH, CH, OH),], (200mg) & 添加し、75℃で2時間攪拌した。反応終了時、溶液中 の懸濁固体を遠心分離技術によって分離し、熱ベンゼン 洗浄を繰り返した。得られた褐色固体を、真空下40℃ で乾燥して、対応するポリ(ジスクシニルオキシエチル アミノ) フレレン、C.o. [-N (CH, CH, OCOC H, CH, CO, H),]。(210mg) を得た。ポ リ(ジスクシニルオキシエチルアミノ)フレレンの物理 的データは、下記の通りである。IRvmax(KB r) 3420 (s), 2933 (C-H), 2644, 2545 (CO2H), 1729 (s, C=O), 1637, 1413, 1308, 1209, 1170, 10 78, 1012, 913, 801, 689, 637及び 564 cm⁻¹.

【0052】<実施例12>

ポリ(p-メチルフェニルアミノ)フレレン、C。[-NHC, H, CH,] の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C。(NO,)。(400mg)及びテトラヒドロ フラン(30mL)を入れた。この溶液に、テトラヒド ロフラン(10mL)中の4-メチルアニリン(500 mg)を添加し、超音波処理条件下で、周囲温度で25 分間処理した。反応終了時、溶液中の全ての溶媒を真空 下除去した。得られた半固体をベンゼン中に再溶解し、 ヘキサンから沈殿させ、そしてヘキサンで洗浄した。こ (p-メチルフェニルアミノ)フレレン、C。 [-NH C. H. CH,]。(450mg)を得、これはベンゼ ンに可溶性である。ポリ(p-メチルフェニルアミノ) フレレンの物理的データは、下記の通りである。 IR v max (KBr) 3347, 3381 (s), 3039 (C-H), 1604 (s), 1565, 1499 (s), 1380, 1341, 1308, 1249, 1 117, 1058, 1031, 755 (s), 696 (s) 及び505cm'。

【0053】<実施例13>

ポリ (N-フェニル-1, 4-フェニレンジアミノ) フ レレン、C60 [-NHC6H4NHC6H5] nの合

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C₁ (NO₁)。(400mg)及びテトラヒドロ フラン(30mL)を入れた。この溶液に、テトラヒド ロフラン(10mL)中のN-フェニル-1, 4-フェ ニレンジアミン (500mg、NH, C,H, NHC, L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ 10 H。) を添加し、超音波処理条件下で、周囲温度で25 分間処理した。反応終了時、得られた沈殿物を濾過によ って分離し、塩化メチレンで洗浄を繰り返した。この固 体をジメチルホルムアミド中に再溶解し、アセトン及び ヘキサンの混合物から沈殿させ、そしてアセトンで洗浄 した。次いで、この明緑色固体を、真空下40℃で乾燥 して、対応するポリ(N-フェニル-1, 4-フェニレ ンジアミノ) フレレン、C。 [-NHC。H、NHC。 H,]。(380mg)を得た。ポリ(N-フェニルー 1,4-フェニレンジアミノ)フレレンの物理的データ 20 は、下記の通りである。IRvmax (KBr) 339 4 (N-H), 3045, 2914, 1598, 157 1 (s), 1512 (s), 1495 (s), 1453 (w), 1328 (s), 1249 (w), 1170, 1117, 1071, 808, 748, 689及び49 8 c m⁻¹.

【0054】<実施例14>

ポリ(フェニルアミノ)フレレン、 C_{i0} [-NHC₆ H ,]。の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m 30 L)に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C₁, (NO₁)。又はC₁, (SO₁)。(400m g) 及びテトラヒドロフラン(30mL)を入れた。こ の溶液に、テトラヒドロフラン(10mL)中のアニリ ン又はリチウムアルミニウムアニリニド(LiAl(H N-C, H,),) (500mg) を添加し、超音波処 理条件下で、周囲温度で25分間処理した。反応終了 時、溶液中の全ての溶媒を真空下除去した。得られた半 固体をベンゼン中に再溶解し、ヘキサンから沈殿させ、 そしてヘキサンで洗浄した。この褐色固体を、真空下4 の褐色固体を、真空下40℃で乾燥して、対応するポリ 40 0℃で乾燥して、対応するポリ(フェニルアミノ)フレ レン、C. [-NHC, H,]。(445mg)を得、 これはベンゼンに可溶性である。ポリ(フェニルアミ ノ)フレレンの物理的データは、下記の通りである。 I Rvmax (KBr) 3447, 3381, 3039, 1604 (s), 1565, 1499 (s), 138 0, 1341, 1308, 1249, 1117, 105 8, 1032, 894, 755 (s), 696 (s), 545及び505cm¹。

【0055】<実施例15>

50 # $\| N' - \forall X (4' - Y \le J) - 1,$

4-キノネンジイミノ]フレレン、C.。[-NH-C. H_{\bullet} $-N=C_{\bullet}$ H_{\bullet} $=N-C_{\bullet}$ H_{\bullet} $-NH_{\bullet}$]。の合成 磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m し)に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C₁, (NO₁)。(400mg)及びテトラヒドロ フラン(30mL)を入れた。この溶液に、1,8-ジ アザビシクロ[5.4.0]ウンデクー7-エン(DB U、500mg)を含有する又は含有しない、テトラヒ ドロフラン (10mL) 中のN, N'ーピス (4'-ア ミノフェニル) -1, 4-キノネンジイミン (500m 10 g, $NH_1 - C_1 H_1 - N = C_1 H_1 = N - C_1 H_1 -$ NH,)を添加し、超音波処理条件下で、周囲温度で2 5分間処理した。反応終了時、得られた沈殿物を濾過に よって分離し、塩化メチレン洗浄を繰り返した。この固 体をジメチルホルムアミド中に再溶解し、アセトン及び ヘキサンの混合物から沈殿させ、そしてアセトンで洗浄 した。次いで、この暗緑色固体を、真空下40℃で乾燥 して、対応するポリ[N, N'ーピス(4'ーアミノフ ェニル) -1, 4-キノネンジイミノ] フレレン、C₁0 [-NH-C, H, -N=C, H, =N-C, H, -N]H.]。(380mg)を得た。ポリ[N, N'-ビス (4'-アミノフェニル)-1, 4-キノネンジイミJ] フレレンの物理的データは、下記の通りである。 I $R \nu max (KBr) 3434, 2927 (C-H)$, 2872, 1604 (s), 1591 (s), 1501 (s), 1341 (s), 1150 (s), 1047, 834, 732, 552及び464cm⁻¹。

【0056】<実施例16>

C.,の4-アミノベンジルホスホン酸誘導体、C.,[-NHC, H, CH, P (=O) (OH),]。の合成 磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(25mL) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これに、 C₁₀(NO₁)。(100mg)及びテトラヒドロフラ ン(15mL)を入れた。この溶液に、テトラヒドロフ ラン(5mL)中の4-アミノベンジルホスホン酸(1 50mg)を添加し、超音波処理条件下で、周囲温度で 30分間処理した。反応終了時、溶液中の懸濁固体を遠 心分離技術によって分離し、テトラヒドロフラン及びア セトンで洗浄を繰り返した。得られた褐色固体を、真空 下40℃で乾燥して、対応するC,oの4-アミノベンジ 40 ポリ(2,3-ジヒドロキシプロピルメルカプト)フレ ルホスホン酸誘導体、C.。[-NHC。H、CH: P (=O) (OH),]。(95mg)及び1,8-ジア ザビシクロ[5.4.0]ウンデク-7-エン(DB U、400mg) を得た。

【0057】<実施例17>

C.。のアミノ酸誘導体、ポリ(L-チロシン化)フレレ ン、C, [-OC, H, CH, CH (NH,) CO , H]。の合成

丸底反応フラスコ中の、テトラヒドロフラン(50m L)中のC₁ (NO₁)。(300mg)の溶液に、L 50 びトリエチルアミン(1g)を添加し、60℃で10時

- チロシン (500 mg、微細に分割した) 及び1、8 -ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデクー?-エン (DBU、600mg) を添加した。この混合物を45 ℃で16時間攪拌して、暗赤褐色固体懸濁液を得た。溶 液中の懸濁固体を遠心分離技術によって分離し、テトラ ヒドロフラン、ジメチルホルムアミド及びアセトンで順 番に洗浄を繰り返た。得られた褐色固体を、真空下40 ℃で乾燥して、対応するポリ(L-チロシン化)フレレ ン、C, [-OC, H, CH, CH (NH,) CO , H]。(410mg)を得た。ポリ(L-チロシン 化)フレレンの物理的データは、下記の通りである。 I Rvmax (KBr) 3415 (s), 3200, 29 00 (C-H), 2580 (br, CO2H), 159 2 (s), 1580, 1557, 1473, 1400, 1384, 1326, 1300, 1202, 1070 (br, s), 814, 785, 703, 635, 58 7及び514cm⁻'。

【0058】<実施例18>

C.oの2-ヒドロキシメチルフェノール誘導体、C 20 。 [-OC, H, CH, OH]。 の合成 丸底反応フラスコ中の、テトラヒドロフラン(50m L)中のC。(NO,)。(300mg)の溶液に、 1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデク-7-エン(DBU、400mg)を含有するか又は含有しな い2-ヒドロキシメチルフェノール(1.0g)を添加 した。この混合物を50℃で1.5時間攪拌して、暗赤 褐色固体懸濁液を得た。溶液中の懸濁固体を遠心分離技 術によって分離し、水で洗浄を繰り返した。得られた褐 色固体を、真空下40℃で乾燥して、対応するフレレン 30 の2-ヒドロキシメチルフェノール誘導体、C。 [-O C, H, CH, OH] (410mg) を得た。この生 成物は、テトラヒドロフラン中に可溶性である。フレレ ンの2-ヒドロキシメチルフェノール誘導体の物理的デ ータは、下記の通りである。IRvmax (KBr) 3 375 (s, broad), 2928 (C-H), 1649, 1611, 1593, 1500, 1455, 13 82, 1228, 1057 (s), 843, 753及び 5 2 6 c m⁻¹.

【0059】<実施例19>

レン、Cio (-SCH, CH (OH) CH, OH)。 の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C₁₀(NO₁)。(350mg)及びテトラヒドロ フラン(20mL)を入れた。この溶液に、塩化メチレ ン(20mL)中の、2,3-ジヒドロキシプロピルチ オール (500mg)、1,8-ジアザビシクロ[5. 4. 0] ウンデク-7-エン (DBU、500mg) 及

間攪拌した。反応終了時、溶液中の全ての溶媒を真空で 除去して、ゴム状生成物を得た。得られた半固体を酢酸 エチル中に懸濁させて、褐色固体を得、これを酢酸エチ ルで洗浄した。この褐色固体を、真空下40℃で乾燥し て、対応するポリ(2,3-ジヒドロキシプロピルメル カプト)フレレン、Cio (-SCH, CH (OH) CH , OH)。(315mg)を得た。ポリ(2, 3-ジヒ ドロキシプロピルメルカプト)フレレンの物理的データ は、下記の通りである。IRvmax (KBr) 340 0 (s, OH), 2920 (C-H), 2868 (C-H), 1621, 1400, 1157, 1046, 10 25, 652, 574及び511cm⁻¹。

【0060】<実施例20>

フレレンのメルカプトコハク酸誘導体、C。 [-SCH 』(CO, H) CH, CO, H] "の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C。(NO:)。(400mg)、トリエチルアミ ン(1g)及びテトラヒドロフラン(25mL)を入れ た。この溶液に、テトラヒドロフラン (25mL) 中の 20 2-メルカプトコハク酸 (550mg) 及び1, 8-ジ アザピシクロ[5.4.0]ウンデク-7-エン(DB U、600mg)を添加し、60℃で10時間攪拌し。 た。反応終了時、溶液中の懸濁固体を遠心分離技術によ って分離し、テトラヒドロフランで洗浄を繰り返した。 得られた褐色固体を、真空下40℃で乾燥して、対応す るフレレンのメルカプトコハク酸誘導体、C。。[-SC H₁ (CO, H) CH₁ CO, H] (405 mg) & 得た。この化合物の物理的データは、下記の通りであ 3. Ι R ν m a x (K B r) 3 4 2 5 (s, O H), 2 30 910 (C-H), 2608-2534 (CO2H), 1700 (s), 1623, 1544, 1392, 13 88, 1307, 1263, 1202, 1173, 10 56及び525cm⁻¹。

【0061】<実施例21>

フレレンのメルカプトコハク酸誘導体、Cio [-SCH 』(C.O, H) CH, CO, H]。の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、C₁, (SO₁)。(400mg)及びテトラヒドロ 40 フラン(25mL)を入れた。この溶液に、テトラヒド ロフラン(25mL)中の2-メルカプトコハク酸(5 50mg) 及び1,8-ジアザビシクロ[5.4.0] ウンデク-7-エン(DBU、600mg)を添加し、 50℃で1.0時間攪拌した。反応終了時、ジエチルエ ーテル(30mL)を添加して、固体を沈殿させ、この 固体を遠心分離技術によって分離し、テトラヒドロフラ ン及びジエチルエーテルの混合物で洗浄を繰り返した。 得られた褐色固体を、真空下40℃で乾燥して、対応す

H: (CO, H) CH, CO, H] (415mg) & 得た。この化合物の物理的データは、下記の通りであ 3. IRνmax (KBr) 3425 (s, OH), 2 910 (C-H), 2608-2534 (CO2H), 1700 (s), 1623, 1544, 1392, 13 88, 1307, 1263, 1202, 1173, 10 56及び525cm⁻¹。

【0062】<実施例22>

ポリ(ヘキシルメルカプト)フレレン、C.。[-SCH 10 , CH, CH, CH, CH, CH,] 。の合成 磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、ナトリウム(100mg)及びテトラヒドロフラン (25mL)を入れた。この混合物にヘキサンチオール (420mg)を添加し、1時間攪拌して、ナトリウム ヘキシルチオラート溶液を得た。次いで、この溶液に、 テトラヒドロフラン (25mL) 中のC。(NO,)。 (400mg)を添加し、周囲温度で更に2時間攪拌し た。反応終了時、溶液中の全ての溶媒を真空下除去して 褐色固体生成物を得、これを水及びアセトンで2回洗浄 した。得られた褐色固体を、真空下40℃で乾燥して、 対応するポリ(ヘキシルメルカプト)フレレン、C [-SCH, CH, CH, CH, CH, CH,] 。(465mg)を得た。この化合物の物理的データ は、下記の通りである。IRvmax (KBr) 295 3 (C-H), 2921 (C-H), 2848 (C-H), 1644, 1459, 1428, 1384, 11 83, 1045, 793, 729, 577及び526 c

【0063】 < 実施例23>

ポリ (アセチルアセトナト) フレレン、C。 [-CH (COCH,),]。の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、2, 4-ペンタンジオン(350mg)及びテトラ ヒドロフラン (20mL) を入れた。この混合物に、テ トラヒドロフラン中のリチウムジイソプロピルアミン (2, 4-ペンタンジオンの1. 1 当量) を添加し、1 時間攪拌して、対応するリチウムアセチルアセトナート を得た。次いで、この溶液に、テトラヒドロフラン(2 5mL) 中のC。(NO,)。(400mg) を添加 し、周囲温度で更に2時間攪拌した。反応終了時、混合 物をH2Oでクエンチして、生成物の沈殿物を得、この 沈殿物を母液から遠心分離によって分離した。この固体 を、ジエチルエーテル(30mL)、ベンゼンで2回 (各回20mL)、アセトンで2回(各回20mL)洗 浄し、真空下40℃で乾燥して、対応するポリ (アセチ ルアセトナト) フレレン (380mg)、C60[-C H (COCH,),] m (但し、m≥n) の褐色固体を るフレレンのメルカプトコハク酸誘導体、C。。 [-SC 50 得た。ポリ(アセチルアセトナト)フレレンの物理的デ

ータは、下記の通りである。IRvmax (KBr) 3 401 (s, OH), 2979 (C-H), 2927 (C-H), 2881 (C-H), 1702, 162 0, 1426, 1380, 1361, 1260, 118 3, 1057, 953及び532cm⁻¹。

【0064】<実施例24>

ポリ [ピス (1, 1'-ヒドロキシアミノエチル) メチル] フレレン、C。 (-CH [C (OH) (NH,) CH,], }。の合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m し) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、2,4-ペンタンジオン(350mg)及びテトラ ヒドロフラン(20mL)を入れた。この混合物に、テ トラヒドロフラン中のリチウムジイソプロピルアミン (2, 4-ペンタンジオンの1.1当量)を添加し、1 時間攪拌して、対応するリチウムアセチルアセトナート を得た。次いで、この溶液に、テトラヒドロフラン(2 5 mL) 中のC。(NO,)。(400 mg) を添加 し、周囲温度で更に2時間攪拌した。反応終了時、混合 物をヨウ化アンモニウム、NH、゛Ӏ゛でクエンチし、 1時間攪拌した。次いで、テトラヒドロフランを溶液か ら除去して、生成物の半固体を得、この生成物を水及び アセトンで洗浄を繰り返し、真空下40℃で乾燥して、 対応するポリ [ビス (1, 1'-ヒドロキシアミノエチ ル) メチル] フレレン、C.。{-CH [C (OH) (N H₁) CH,], }, (但し、m≥n) の褐色固体を得 た。この化合物の物理的データは、下記の通りである。 IRvmax (KBr) 3400 (s), 3151 (s), 3043, 2929 (C-H), 2880 (C -H), 1635, 1401, 1220, 1035, 7 73,630及び545cm⁻¹。

【0065】<実施例25>

ポリ [メトキシオリゴ (エチレングリコール化)] フレレン、 C_{io} [-O (CH_{i} $-CH_{i}$ O), 又は $_{i-1}$, CH_{i} の合成

得た。この固体沈殿物を遠心分離技術によって単離し た。次いで、これをテトラヒドロフランに溶解し、濾過 し、溶離剤として酢酸エチルを使用するクロマトグラフ ィー(SiO,)によって精製し、この際、全ての未反 応ポリエチレングリコールモノメチルエーテルは除去さ れた (Rf=0.85)。薄層クロマトグラフィープレ ート上の褐色帯域中の固体(Rf=0.2)を回収し、 真空下40℃で乾燥して、対応するポリ[メトキシオリ ゴ(エチレングリコール化)]フレレン、C,。[-O (CH, CH, O), CH,]。又はC,, [-O(CH , CH, O),,,,, CH,]。(但し、m≥n)の薄褐 色乃至褐色固体を得た。 C., [-O (CH, CH, O) 12-13 CH,]。の物理的データは、下記の通りであ る。IRvmax (KBr) 3435 (s), 2920 (C-H), 2874 (C-H), 2835, 1593 (s), 1453, 1410, 1367, 1270, 1 105 (s), 949, 776, 623及び455cm $^{-1}$. 1 H NMR (300MHz, DMSO-d6) δ 3. 22 (CH,) 及び3. 40 (CH,)。

20 【0066】<実施例26>

官能化ポリ有機フレレン誘導体、C₆。(-A-B-Z)mの合成

磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ(100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ \mathbb{C} , $HO-Y_1$, H_2 , $N-Y_1$, $HS-Y_1$, HO-C, H, -Y, 、HS-CS-Y, 又はH, N-CO-Y 、(ポリニトロフレレンのニトロ基の1.3当量)及び テトラヒドロフラン (20mL) を入れた。この混合物 に、スーパーヒドリド(superhydride) (-OH、-NH 30 : 又は-SH基の1.1当量、テトラヒドロフラン中 1. 0 M) を添加し、1時間攪拌して、LiO-Y,、 $L i NH - Y_i$, $L i S - Y_i$, $L i O - C_6$ H_4 - Y,、LiS-CS-Y, 又はLiHN-CO-Y, の対 応するリチウム塩を得た。次いで、この溶液に、テトラ ヒドロフラン (25mL) 中のC₆₀ (NO₂) 。 (40 0mg)を添加し、周囲温度で更に2時間攪拌した。反 応終了時、得られた溶液からテトラヒドロフランを蒸発 させて、薄褐色乃至褐色固体を得た。この固体を、攪拌 しながらジエチルエーテル(100mL)中に添加し て、生成物の微細な懸濁液を得た。この固体沈殿物を遠 心分離技術によって単離した。次いで、これをジエチル エーテルで2回(各回20mL)、アセトンで2回(各 回20mL)洗浄し、真空下40℃で乾燥して、対応す る官能化ポリ有機フレレン誘導体、С60 (-A-B-Z)。(但し、m≥n、Aは独立に、-O-、-NH -, -S-, -O-C, H, -, -HN-CO-であ り、Bは独立に、-R-O-[Si(CH,),-O -] -- 100 、 C₁₋₂₀₀ アルキル、 C₆₋₅₀ アリール、 C 1-100 アルキルアリール、C7-100 アリールアルキル、 (C₂₋₁₀アルキルエーテル)₁₋₁₀₀ 、 (C₆₋₄₀アリール

エーテル) 1-100 、 (C1-60 アルキルアリールエーテ ル)₁₋₁₀₀、(C₇₋₅₀アリールアルキルエーテル) 1-100 、 (C:-10アルキルチオエーテル) | -100 、 (C 4-10 アリールチオエーテル) 1-100 、 (C₁-60 アルキル アリールチオエーテル) 1-100 、 (C1-60 アリールアル キルチオエーテル)」-100、 (C1-50アルキルエステ ル) 1-100 、 (C1-60 アリールエステル) 1-100 、 (C 8-70 アルキルアリールエステル) 1-100 、 (C8-70 アリ ールアルキルエステル) -- い。であり、各 Z は独立に、 -C-D-(但し、各Cは独立に、-R-、-R-Ar 10 -、-Ar-R-又は-Ar-であり、各Dは独立に、 $-H_{i}$ $-O-S_{i}$ $(CH_{i})_{i}$ - $-S-CH_{i}$ -A $r \cdot -SO_{1} - \cdot -OSO_{1}^{-1} \cdot -CO_{1}^{-1} \cdot -PO_{1}$ - , -O-PO, - , -O-PO (O) -O-PO, - , 又は-NR, R, であり、R、R, 、R, 、R, は各々 独立して C1-10 アルキルであり、各A r は独立してアリ ールである)の薄褐色乃至褐色固体を得た。

【0067】<実施例27>

フレレンのポリヒドロキシメルカプトコハク酸誘導体 (FSSA-OH), C_{i0} [-SCH; (CO, H) C H, CO, H]。(OH)。の合成 磁気攪拌機を取り付けた丸底反応フラスコ (100m L) に、隔膜及び冷トラップ凝縮器を取り付けた。これ に、実施例13に示す方法によって製造したフレレンの メルカプトコハク酸誘導体(FSSA、200mg)、 C, [-SCH: (CO: H) CH: CO: H], 水 酸化ナトリウム(2.5g)、テトラプチルアンモニウ ムヒドロキシド (1.0mL、H, O中2.0M) 及び H₂ O (20 mL) を入れた。この混合物を40℃で4 時間攪拌した。反応終了時、得られた溶液にメタノール 30 (200mL)を添加して、褐色固体を沈殿させた。沈 殿した固体を遠心分離技術によって単離した。次いで、 これをメタノールで2回(各回20mL)洗浄し、真空 下40℃で乾燥して、フレレンのポリヒドロキシメルカ プトコハク酸誘導体の対応するナトリウム塩 (215m g), Cio [-SCH2 (CO2Na) CH, CO, N a] a (OH) a を得た。このナトリウム塩を、HC1

の水溶液 (1.0N)で周囲温度で0.5時間処理して、定量的収率で、C,。[-SCH, (CO, H) CH, CO, H]。(OH)。(FSSA-OH)を得た。C,。[-SCH, (CO, Na]。(OH)。の物理的データは、下記の通りである。IR vmax(KBr)3450(broad, s),2925(w, C-H),2870(w, C-H),1623(s),1589(s),1392,1055及び690(broad)cm⁻¹。'HNMR(200MHz,D2O)δ3.59(t,CH),2.82(broad,OH)及び2.62(d,CH,)。

【0068】 <他の態様>上記の記載から、当業者は、本発明の本質的な特徴を容易に確認することができ、本発明の精神及び範囲から逸脱することなく、本発明の種々の変更及び修正を行って、それを種々の使用及び条件に適合させることができる。それで、他の態様も特許請求の範囲の範囲内である。

[0069]

【発明の効果】以上説明した通り、 ポリ有機フレレン 及びポリヒドロキシ有機フレレン誘導体は、それぞれの 式、F-(E)。及びF-(E)。-(OH)。(式中、 Fはフレレンコアであり、Eは求核性置換基であり、-OHはヒドロキシ基であり、nは2~30であり、そし てmは1~20である)を有する。また、中間体として ポリニトロフレレン又はポリシクロ硫酸化フレレンを使 用する、このようなポリ有機フレレン及びポリヒドロキ シ有機フレレン誘導体の製造方法も開示される。これら は種々のポリ有機フレレン誘導体の製造用の中間体とし て使用することができる。これらの中間体を使用するこ とによって、穏和な条件下で速い速度で反応を進行させ ることが可能になる。ポリニトロフレレン又はポリシク 口硫酸化フレレンから合成されたこれらのフレレン誘導 体は、次いで、フレレングラフト化ポリマーを製造する ために使用することができる。ポリマーの出発物質とし て作用することに加えて、これらの誘導体は、有用なフ リーラジカルスカベンジャーであることも示されてい る。

フロントページの続き

(71)出願人 598101631

4th F1.No.15 Lane 97 S ec.1, Hsin-Sheng S. Road, Taipei, Taiwan, R. O. C.